

あすなろ

40周年記念



我等は
郷土を愛し
仕事に徹し
人と和す

信
糸





釧路あすなろクラブ創立40周年記念

～明日は檜に～



釧路あすなるクラブ



諸兄の情熱に拍手を!!

釧路あすなろクラブ会長 畑 稔

光陰矢のごとしと申しますが、私の本会在籍も、早21年となりました。入会当初は、本会の真意も理解できずに、不満の多い一会員でしたが、会員の皆さんとの交流の中で初めて「自分の常識は、他人の常識とは違う」と言う事を実感し、いろいろな人達と接して、初めて自分の人生観の狭さを思い知らされました。

当クラブは平成4年頃より、特別会員の定年問題・会員の見直し・クリスマス例会の廃止等、本会の歴史の中でも激動の10年間でなかったかと思われます。又、本会の最後のチャーターメンバーであった今田会員が退会され、本会も新時代に突入したと感じます。

この激動の中、当時の執行部の皆様の決断に敬意を表しますと共に、これからも、この決断は、継続しなければ、釧路あすなろクラブの未来は確立できないと思います。

40期の会長として、会員皆様の御協力を賜り一致団結し、釧路あすなろクラブの信条の基「郷土を愛し・仕事に徹し・人と和す」に徹して役務を全うして行きたいと思っております。

2002年の本年は、皆様も周知の通り太平洋炭砒の閉山・昨年の、スーパーまつだの閉店・長崎屋の撤退・経済水域200海里の現実に於ける水産業界の衰退・製紙工場のリストラと、一次産業の衰退に伴う二次産業の衰退、これらの産業に少なからず関与する我々会員の影響は、皆様も関係が有る物と思います。

人は、産声を揚げて誕生するが、人生百年たらずです。会社も、生まれる時は商売のターゲットが有り維持するが、そのターゲットが変化するのに追従している時代は、何とか維持できるが、変化に対応出来なければ末路となる。それでも良しとする考えも有るが、従業員・及び家族等の事を思えば自己主義ではいけないと思います。

私は、企業は継続する事が、一番に必要な責任だと思っており、継続とは生き残る企業の生存競争に勝つ事です。その年が本年です、そこで今年のクラブのテーマを「刮目(かつもく)」とし、会員同士一丸となり、今までの常識を振り捨てて改めて自分を見つめ直し、今後の会社の経営計画に生かして生き残りを模索しようではありませんか。

最後に、この40周年を期に、私は特に本音で話し合えるあすなろクラブにしたいと思っておりますので、皆様の忌憚のないご意見・会話を期待しております。

40年の経緯を継承していく上で、時代に即応できるよう対応を敏速に行動するのが、使命と考えております。

皆様のご協力を、お願いし40周年の挨拶と致します。



祝 釧路あすなろクラブ 創立40周年

釧路市長 綿 貫 健 輔

「釧路あすなろクラブ」が創立40周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

昭和37年2月、中小企業の第一線で活躍されていた19名の皆様により、会員相互の交流と経営並びに販売技術の向上を期するための情報交換、研修の実施を目的に発足し、本年、創立40周年という一つの節目を迎えられ、会員皆様のご感慨もことのうえ深いものがあると思います。

これまで、歴代の会長さんをはじめ、各役員・会員の皆様が、「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和す」の信条を生かし、地域において多大な貢献と功績を残されてまいりましたことに、心より深甚なる敬意を表する次第であります。

現在、51名の会員皆様が、職域そして地域社会に、その活動を広げられ、毎月の例会においては、地元のみならず、幅広く様々なジャンルについての研修事業に取り組み、情報の収集や自己研鑽に努められておりますことに、尊敬の念を覚えるものであります。

本年釧路市は、大正11年の市制施行から80年の節目を迎える年となりますが、永らく地域経済の発展を牽引してきた太平洋炭砒が創業以来80有余年に幕を閉じ、北海道教育大学釧路校の再編問題、外来大型店の閉店など、地元経済、雇用問題等の大きな課題が山積している状況にあり、また、近隣町村との合併に向けての新しい動きが巻き起こり、釧路再生へ向けた確実な一歩を刻む重要な年であると考えております。

釧路市がどのように今を生き、そして確固たる将来展望を描いていくため、市民も、企業も、行政も一致協力して、地域の新しい活路を生み出す知恵を出し合い、この危機を克服していく行動が、これまで以上に必要な時となってまいりました。

「釧路あすなろクラブ」におかれましては、今後とも創立当時の精神を生かし、異業種交流の拡大と活動を通じ、産業をはじめ、生活環境、福祉、教育など社会のあらゆる分野において、一人ひとりの創造性や先見性が発揮されることをご期待申し上げ、貴会の益々のご発展と会員皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。



先駆者として 一層の活躍を

釧路商工会議所

会 頭 両 角 靖 二

釧路あすなろクラブが創立40周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴クラブは釧路地域における異業種交流団体の草分けとして、昭和37年2月に会員19名で設立されて以来、経済研修など幅広い活動を通じて、その使命を着実に果たされ、今日まで発展を遂げられて参りました。

変化の激しい時代にあって、幾多の困難を乗り越えながら研鑽を重ねられ、40年という永きにわたり活動を続けられてきたことは誠に意義深く、高く評価されるべきものと存じます。

また、役員はじめ会員の皆様は日々経済活動の第一線に立たれ、日常業務に多忙を極めながらも、「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和す」を信条とし、限りない情熱と固い結束をもってクラブ運営を支えられており、その活動を通じて地域社会の発展に多大なる貢献をされておりますことに深甚なる敬意と感謝の念を表します。

昨今は、地方に対する逆風が吹き荒れており、私共を取り巻く経済環境には極めて厳しいものがございます。

これまでの概念が通用しない時代を迎え、これまで以上にチャレンジする姿勢が求められておりますが、釧路においても改めて地域の経営資源を見直しながら、新たな産業活動をリードする街づくりを推進するとともに、釧路管内はもとより根室圏、北網圏などとも広く連携し、地域の活力をより豊かなものとして行かなければなりません。

まさに、皆様が目指されているように、強いリーダーシップとあらゆる垣根を越えたパートナーシップにより、地域社会を創造して行かなければならない時代を迎えておりますが、貴クラブにおかれましては、釧路における異業種交流の先駆者として、これからの地域づくりにご尽力いただけるものと大いに期待いたしております。

結びに、釧路あすなろクラブの今後益々のご発展と会員企業のご繁栄を心より祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



価値ある40年に期待

釧路新聞社社長 平川 剛 喜

釧路あすなろクラブの創立40周年を心よりお慶び申し上げます。

かつてない経済環境の厳しい時代を迎えています、こういう時代だからこそ危機感から異業種交流が盛んで、会員の多少はあっても組織の数はふえていると聞いております。しかし、その異業種交流の組織の中にあつて貴クラブは草分け的な存在であります。

昭和37年2月、19名の会員で設立されていますが、当時としてはまさに画期的な発想の転換のもとでの旗上げであつたらうと推察するしだいで。

私も昭和41年頃に入会させていただいたことがあります、釧路の中小企業の第一線で活躍されている方々が、その業種、業態を越えて、互いの失敗、成功談を語り合う中で、色々な情報を交換し、自らも研鑽に励んで、各自の業界で逞しく生き残ってきた姿を見るにつけ深い敬意を表するしだいで。

「あすなろ、は」あすは檜になろう、の意です。まさに明日は業界のリーダーとして活躍しようとの志を抱いた有志の集まりでもあつたことでしょう。

今、釧路の経済界は未曾有のピンチに立たされています。基幹産業は、水産の漁獲量の激減に加え、太平洋炭硯が81年の歴史に幕を閉じ、関連企業を含め失業者1,000の発生は不可避の状態にあり、また、商業界にあつては中心部の大型店が撤退してしまいます。さらに北海道教育大学釧路校の存廃問題が発生して、まさに市勢の根幹をゆるがす難問が続出し、釧路の経済は果たしてどうなっていくのか、市民も不安な毎日を送っているのが現実です。

「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和す、という貴クラブの信条をみる時、釧路新聞が郷土紙として何ものにもまして郷土を愛する心と軌を一にするものです。今こそ「郷土ありて我あり、の強い精神で前進してこそこの荒波を乗り越えていけるものと確信しております。

そして中小企業の第一線で活躍されている貴クラブの会員の皆様が、この40年間の歴史の中で培ってこられた知恵を大いに生かし、情熱をもって果敢に逆境に挑む時、さらなる新しいエネルギーが生まれ、釧路活性化の原動力となることを期待するものでもあります。

「異業、は」異形、にあらず、いまや「偉業、を成し遂げつつある貴クラブの今後、益々のご活躍を祈念し、お祝いのことばといたします。

Contents ●

目次

信条・40周年記念写真

祝辞

諸兄の情熱に拍手を!!……1
祝 釧路あすなろクラブ創立40周年……2
先駆者として一層の活躍を……3
価値ある40年に期待……4
今こそ底力を出そう!……5

会員プロフィール&10年間のあゆみ……6

創立30周年記念式典……36
創立35周年記念例会……38
思い出を語る……39
座談会……43
あすなろクラブ創立時をふりかえり……49

会員名簿……51

会則……53
歴代役員名簿……56
年代行事一覧……57
40周年記念実行委員会……58

編集後記……59



今こそ底力を出そう！

40周年記念実行委員長 伊 東 良 孝

釧路あすなろクラブが釧路地域の「営業の第一線で活躍する経済人」の経済研修団体として、昭和37年に創立されて以来、40年という歳月が流れました。

今回、この40周年記念式典の実行委員長をお引き受けする事になりましたが、歴代の会長さんや多くの関係者の皆様のご協力を得て、この40周年記念誌の発行を始め、記念事業や式典、祝賀会を行うことが出来ました事を、心より感謝し厚く御礼申し上げます。

私のクラブ入会は昭和55年7月ですが、翌年から20周年記念誌の編集に入り、昭和57年2月21日に当時、私が勤務していました釧路パシフィックホテルで20周年記念式典が行われました。

また、更には10年後の平成4年2月15日、第18代会長の時、30周年記念式典に臨ませていただきました。

そして奇しくも今回は40周年の実行委員長と言うことで、節目節目に大きな関わりを持たせていただき、これまでの釧路あすなろクラブにおける研修や会員との交流が、私の30代から40代、50代にかけての掛け替えのない貴重な財産となっている事を改めて痛感させられ、皆様に心より感謝しております。

さて、釧路あすなろクラブが異業種交流と言う言葉もなかった時代から、1業種1社を原則に50~60名の会員を擁し、毎月1回の研修会を営々として40年間も続けてきましたことは、一般的に見ますと驚異的な事でありましょう。

20周年の時、当時の釧路商工会議所の渡辺源司会頭は祝辞の中で「20周年を迎えたと聞いて、いささか感慨を深くした。このような同志的結合を持った少壮実業家の集まりが20年も倦むことなく、前進を続けている例は珍しい。」と述べられ、30周年の時は釧路新聞の1面に「よくぞ続いた30年」と言う大見出しで特集記事が出たほど、このような会が何十年も続くというのは難しいことなのかも知れません。

それだけにこの40年は、歴代の役員の方々の並々ならぬクラブ運営への努力と会員を維持するアイデアや事業計画など、会員の熱意で築き上げてきた金字塔であります。

現在、釧路地方は「太平洋炭砒の閉山問題」「教育大学釧路校の再編・統合問題」「水産水揚げの13万トン割れ」などかつてない厳しい経済環境にあり、今こそ地元経済人の底力と奮起が期待されている時であります。

釧路あすなろクラブもこの40周年を期に更に大きく飛躍し、釧路市経済の発展を担う存在感のある団体として、大いに底力を発揮し、活動してゆこうではありませんか。

会員各位の益々のご隆盛とご健勝を心よりご祈念申し上げご挨拶と致します。

会員プロフィール

《設問》 ①自分の性格 ②趣味 ③いつも心がけている事 ④クラブに入会して感じた事、望む事
⑤生年月日 ⑥入会年



安藤 栄治

- ① やり始めたら最後までやる事、物事に対してすぐ考え込む事。
- ② スキー、ラジコン飛行機
- ③ 相手をまず考えて行動する。
- ④ 多くの方と知り合えた事。
会員同志、より一層知り合える機会を増した方が良いのでは。
- ⑤ S26. 10. 10 ⑥ S58



飯田 正幸

- ① 短気だが物事に対してプラス指向
- ② 野球（野球審判）、ジョギング
- ③ 誠意をもって人と接す事。
- ④ 多くの仲間に出会えた事。
若い会員を増やし仲間を大事にするクラブであってほしい。
- ⑤ S22. 12. 21 ⑥ S62



五十嵐孝治

- ① 明朗快活
- ② スポーツ（体操、ゴルフ）
- ③ 人の話を良く聞く。
- ④ クラブ内での交流が少ないように思う。クラブ会員の仕事の内容がよくわからず、会社名と顔が一致しない。
- ⑤ S26. 1. 11 ⑥ H11



石田 博司

- ① わからん。本当にわからない。
- ② 特に無し。無趣味が趣味。
- ③ その心がけが悪いから人生失敗ばかり。
- ④ 色々な人がいるな、ということ。
今のところは特にありません。
- ⑤ S25. 2. 23 ⑥ H4



市橋 清捷

- ① 温和
- ② ゴルフ
- ③ 協調
- ④ 異業種交流の草分けとして、今後も発展していく事。
- ⑤ S17. 12. 11 ⑥ S47



伊東 良孝

- ① 「大筋で間違いが無ければ良し」とする割と応揚な性格だが、良く言えば「あまり細かな点まで気にしない」所が裏目に出ると、「無神経」で「気遣いが足らず」になる事もあり気を付けたい。
- ② パソコン、ギター、キャンピング
- ③ 常に、正義感・勇気・情熱を持って行動する事。
- ④ この21年、数多くの先輩にご指導いただき又、多くの仲間を支えられて今日あると思っています。ただただ感謝しています。
- ⑤ S23. 11. 24 ⑥ S55



請川 裕康

- ① 厳しい中にも、やさしさがある。
- ② アウトドア、家庭菜園、日曜大工
- ③ 人を思いやる。
- ④ 会員のみなさんの熱心さを感じました。
- ⑤ S33. 3. 20 ⑥ H13



大串 希昭

- ① 明朗・素直・温和で消極的・やや優柔不断な処
- ② バドミントン（若い頃）、温泉、水中ウォーキング
- ③ 相手の立場にたって行動する。
- ④ 身近に各業種のプロがいることの安心感。
人間関係が広がった点。
講師例会をより活発に。
- ⑤ S18. 8. 18 ⑥ H1



太田 茂樹

- ① 優柔だが温厚で真面目な事。
- ② ゴルフ、釣り、旅行
- ③ 思いついたら即実行。一日の計画は重要なものから消化する。
- ④ 例会等で今まで知らなかった知識を得た事。他の職域の人との出会いがあった事。クラブとしてボランティア的要素も取り入れてはいかがでしょうか。
- ⑤ S19. 1. 8 ⑥ H9



大谷 真市

- ① 明る目な性格ながら、人見知りな面も。楽天的なところもあるが、繊細なところもあり。
- ② 浅く広く。
- ③ 充実した1日にしたい。
- ④ 多様な人との出会いがあり自分にとってプラスでした。あまり形式にこだわらず、新しい人材を集めるべき。オープンな会に。
- ⑤ S24. 8. 10 ⑥ H4



岡田 征男

- ① 温厚・やさしい。
- ② 釣り、マージャン。
- ③ 物事は、真面目に。
- ④ 飲み友達が、増えました。
- ⑤ S20. 7. 16 ⑥ H4



木内慎太郎

- ① 自分自身は温和のつもりだが、自分勝手の面もあり。
- ② 音楽、スポーツ鑑賞
- ③ 正義感が強いのが悪い方向に出ない様。
- ④ 入会して良かったと思う。クラブの精神を理解する様、心がけている事。
- ⑤ S21. 10. 29 ⑥ S53



菊池 吉郎

- ① 明るい性格である。自分で結論を出せずに人に聞いて人の意見が自分の結論になる事が多い。
- ② カヌー、華道
- ③ 余り考えずに即実行するため、良い時もあるが逆に失敗して修復するのに時間がかかる。
- ④ 自分の世界とちがった業種の方と知り合いになれた事。
4部会あるので2部会づつでもいいから他部会との親睦会をしてもいいかな？ 例会内容にひと工夫して欲しい。
- ⑤ S27. 1. 16 ⑥ H8



草島 守之

- ① 明るく協調性がある。
- ② 魚釣り、山菜取り
- ③ 有言実行
- ④ 新たな人間関係が出来たこと。活発な活動を望みます。
- ⑤ S31. 9. 15 ⑥ H13



黒田 厚司

- ① 温厚
- ② 畑仕事
- ③ 仕事第一
- ④ 40周年お目出度う。次へ向って翔こう。
- ⑤ S 15. 9. 20 ⑥ H 4



近藤 義男

- ① 思いついたら即実行型。
- ② 音楽、仕事？
- ③ 相手の方を、重んじる事。
- ④ 多くの友人に恵まれて感謝します。
- ⑤ S 22. 4. 14 ⑥ H 10



斉藤 政行

- ① 温厚
- ② ボート
- ③ 人のために汗を流すこと。
- ④ 飲み会が多すぎる？
- ⑤ S 23. 4. 4 ⑥ H 3



坂上 政敏

- ① 内向的な性格に思う。
- ② スポーツ（野球、ゴルフ）
- ③ 人との調和。仕事をきらさない事。
- ④ 入会時は何をどうする会か解らず、半年後位から先が見え、今は多くの仲間と出会えて良かったと思う。これから先45、50周年と続く事を願います。
- ⑤ S 24. 5. 2 ⑥ H 10



坂本 裕人

- ① 温厚な性格
- ② ガーデニング
- ③ 人の為になるように接する事と、世の中の役に立つように心掛けている。
- ④ 多くの人々と出会う事が出来た事。
多くの会員が増えて、クラブが最々大きくなって、社会へ貢献が出来るように頑張っていたきたい。
- ⑤ S 31. 7. 30 ⑥ H 10



佐々木保幸

- ①常に微笑をたたえ一歩下る所と少々気が短い（せっかち）。
- ②ゴルフ、卓球、旅行、盆栽鑑賞、釣
- ③顧客への信頼を大切に誠心誠意努力すること。
- ④見聞を広めたこと、友人が多く出来たこと。
- ⑤ S 8. 1. 2 ⑥ S44



佐藤 惟忠

- ①仕事一筋、真面目すぎて冗談が通じない事も。
- ②旅行
- ③他人の事を思う心。
- ④歴史のある会。
- ⑤ S 21. 10. 22 ⑥ H13



佐藤 誠一

- ①几帳面だと思うが内面が悪い。
- ②仲間と一緒に日本酒を飲み交わす事。
- ③他人の話しはよく聞き、抜け駆けの功名はしない事。
- ④見聞・体験を沢山させて頂き、色々な分野の方々と接し、知り合いが出来ました。
本音で話し合いを望みます。
- ⑤ S 22. 2. 4 ⑥ H 3



佐藤 忠和

- ①仕事や、頼まれた事は、やり通す。実直。
- ②幅広く。
- ③毎日、変わらぬ、良いそば、百数十年の歴史を持つ喜ばれるそばをつくる。
- ④いつも出席出来ず残念に思っています。
- ⑤ S 41. 2. 2 ⑥ H 4



清水 雅則

- ①几帳面
- ②ゴルフ・その他広く浅く
- ③意欲
- ④和を大切に
- ⑤ S 26. 8. 28 ⑥ H12



杉山 宏司

- ①何事にもチャレンジ出来る事と精神的に脆いところがある事。
- ②バスケット、ゴルフ、スキー
- ③我をとうさず融和する。
- ④メンバーと仕事をさせていただき人生を学んだ事、沢山の知人ができた事。
各部会内の交流は活発だと思いますが、所属部会以外の交流は月1回の例会では少くないような気がしますので交流の機会を増してはどうですか？
- ⑤ S28. 1. 1 ⑥ H10



須崎 幸蔵

- ①筋を通す所と意固地になる所。
- ②ゴルフ
- ③冷静である事。
- ④色々な面で人が見える様になり、良い仲間と出会った。
肩の力をぬいた運営。
- ⑤ S24. 11. 29 ⑥ H 9



関 昭次

- ①内向型
- ②ゴルフ、切手収集
- ③健康、時間厳守
- ④他人との和の大切さ
本会の出席率の向上
- ⑤ S13. 11. 30 ⑥ H 2



泰地 秀信

- ①積極的且つ温厚
- ②旅行、釣り
- ③健康管理と過去を振り返らず前向に物事を考える。
- ④異業種の方々との出会いが出来た事。
- ⑤ S14. 5. 28 ⑥ S47



谷口 正四

- ①自分勝手だが、あまりクヨクヨしない。
- ②マージャン
- ③酒は楽しく呑む。
- ④人付き合いが良くなった事と、人を知った事。
その時代に合ったクラブ。
- ⑤ S24. 3. 4 ⑥ H 4



中居 好通

- ① オープンな性格でありシャイなところもある。
- ② スポーツ（水泳以外何でも）
- ③ いやだ、出来ないという言葉は出さない、いつもチャレンジ。
- ④ 沢山の出会いが出来た。又、業種業界の経営者との出会いで色々学ぶことも出来た。
- ⑤ S29. 2. 5 ⑥ H11



中尾 嘉男

- ① 仕事柄、温健な性格と思います。
- ② 茶道
- ③ 人との調和。
- ④ 多くの人と交えた事、団体活動の有り方を学んだ事。
末長く続くクラブに成る様に望む。
- ⑤ S28. 2. 1 ⑥ S58



中川 亮

- ① ねばり強いところと短気なところ。
- ② スキー、ゴルフ
- ③ 目標を明確にする事と思い立ったらすぐ実行する。
- ④ 仕事を離れた所で多くの方と知り合う機会ができたこと。
あすなろクラブでは、多くのことを学ばせていただきたいと思
います。
- ⑤ S40. 2. 14 ⑥ H13



中島 康秀

- ① 責任感がある。
- ② ゴルフ
- ③ 人との交流。
- ④ 会員同士の交流が少ない気がします。若い人を入れてほしい。
- ⑤ S47. 3. 23 ⑥ H13



野口 仁

- ① 温厚
- ② フラメンコギター
- ③ 正直
- ④ いろんな話が聞ける。
- ⑤ S22. 10. 9 ⑥ H4



畑 稔

- ①人の面倒見が良いが、少々短気な所もある。
- ②多種多様
- ③有言実行
- ④多くの人との付き合い、皆それぞれに良い面と悪い面があるのがわかった。
個々に無言実行は言わないが、言語にした事は有言実行してほしい。
- ⑤ S20. 3. 15 ⑥ S56



坂東 勉

- ①単純で人に物事を頼まれると断れないタイプ。けっこう短気です。
- ②ボウリング・山菜取り・釣り（フィッシング）
- ③なるべく笑顔をやささないで人に接すること。
- ④先輩達と話しをし自分の知らないことを学んだこと。これからも先輩達とコミュニケーションが図れる会にしてほしい。
- ⑤ S35. 3. 16 ⑥ H11



平野 幹雄

- ①自分でもわからない面が多く、意志の弱い所。
- ②釣り、スキー
- ③出来るなら、敵を作らない様にしたいのです。
- ④人間勉強をさせて頂いた事。
「異業種交流」の本来のメリットが何かを知りたい。
- ⑤ S20. 1. 6 ⑥ S62



福田 紀幸

- ①早とちりな事と、思い立ったが吉ですすぐ行動を起こす事。
- ②ゴルフ、スキー、麻雀、パソコン
- ③相手の立場に立って、言動を起こす。自分が信じてる量だけ、相手は同じ量しか信じていないと心がけている。いわゆる自分から信じなければ相手も信じてこないと言う事です。
- ④勉強になる事が多い、多くの人にふれる事、飲める事。
もっとすごい人の講演が聞きたい（お金がかかっても）。会員を増やす。
- ⑤ S26. 7. 3 ⑥ H 4



本間 英俊

- ①根は短気だが我慢が出来る事。
- ②スキー、ルアー釣
- ③実行のみ。
- ④仲間が出来たこと（仕事上でない）。クラブ内では、人の和を大事にしたい。
- ⑤ S22. 3. 5 ⑥ S59



柵木 隆雄

- ① 協調性の面では、分け隔てなく付き合いができるが、応用性に欠ける。気まじめな事。
- ② バスケットボール、楽器演奏
- ③ 自分を見失わないよう謙虚な気持ちを忘れない。初心忘れるべからず。
- ④ 自分の知り得ない分野の見聞はこのクラブならではのもの、一人でも多くの会員と知り合うことが出来ること。
クラブに望む事は、人との交流の面では、もし可能ならば部会のメンバーも2・3年に一度は移動し、もっと多くの人と接点を持つことが連帯感を強めることになるのでは？
- ⑤ S 33. 4. 5 ⑥ H 10



宮崎 博好

- ① 自分にやさしく、人にきびしい様な気がする。
- ② ゴルフ
- ③ 一人よがりな行動をしない様に気をつけています。
- ④ 色々な職業の話聞くことが出来てとても参考になります。
- ⑤ S 24. 5. 18 ⑥ H 9



宮澤 昌典

- ① 誠実
- ② テニス、水泳、エアロビックス、コンバット
- ③ お客様の立場に立って何が一番良いかを常に考えている。
- ④ お客様が増えた事、人の輪が広がった事。
望む事は、クラブ員同士の意志の疎通をもっとはかれる場を設けていただきたく思います。
- ⑤ S 17. 12. 15 ⑥ S 56



三輪 昌博

- ① 誠実
- ② ハイキング
- ③ 日々是好日
- ④ 信条が簡潔だなど。
- ⑤ S 38. 5. 15 ⑥ H 8



森山 敬文

- ① 辛抱強い反面、短気
- ② 読書
- ③ 努力、他人に対する優しさ
- ④ 仲間ができて楽しい。
- ⑤ S 26. 5. 15 ⑥ S 59



山口 秀昭

- ①短気だが気持の明るいところ
- ②ゴルフ、油絵
- ③相手の身になって理解し行動。気くばりに気を付ける。
- ④権威のある方々と知り合えた事、会員の皆様と交流を図れた事。
クラブ運営は、創造的な精神と情熱で郷土建設に運動展開する事を望みます。
- ⑤ S24. 10. 25 ⑥ H11



山口 良治

- ①昔は短気、今は温厚(?)
- ②野球、ゴルフ、みこし(今年からシニア野球部監督)
- ③常に清潔
- ④多くの友人ができました。
- ⑤ S23. 2. 15 ⑥ H 3



遊佐 紀男

- ①温厚
- ②ゴルフ、スキー、パチンコ
- ③自分に正直に。
- ④色々な業種の人達と話が出る事(なかなか出席できないが今後は出席率を上げたい)。
- ⑤ S25. 1. 21 ⑥ H10



吉多 幸男

- ①即決断
- ②ゴルフ、筋力トレーニング
- ③信念をもって正直に行動する。
- ④いろいろな人に知りあいになれた。
若い人の入会が足りない事。又、例会中はすべて禁煙にしたい。
- ⑤ S33. 3. 5 ⑥ S59



渡辺 教浩

- ①思いやりがあるところ?整理整頓が苦手
- ②ゴルフ、ホッケー
- ③廻りの状況を把握し、冷静に物事を判断できるよう心がける。
- ④異業種の方の意見を聞いた事。多くの方と知り合えた事
- ⑤ S36. 9. 23 ⑥ H 8

前会員（平成13年12月退会）



奥村 英和

- ① くよくよしないこと。嫌いな面は、何も考えずに発言してしまい、他人をキズつける事が多い。
 - ② ゴルフ、バイク
 - ③ 失言が多いので、一言おいてから発言しようと思っているが、つい言ってしまうのを、改めること。
 - ④ 自分が住んでいる世界が狭いので少しは広がった。
H12年事務局をやってみて、みなさんの顔と名前がやっと一致する様になりました。会員の交流をはかることが重要と思うが、方策がむづかしい。
 - ⑤ S 32. 10. 22 ⑥ H 9
-



松本 重政

- ① 大変、真面目？
 - ② 登山
 - ③ 平等
 - ④ あすなろクラブ信条、これすばらしい。
 - ⑤ S 10. 4. 18 ⑥ S 43
-

釧路あすなろクラブ40周年

(H4~H13年)

70年間のあゆみ

平成4年度

1月 第30期総会 1月23日 出席54名

於 道東経済センター

第30期総会が、国際交流センターで行なわれ、新会長には前年度に続いて伊東良孝会員が再選されました。

役員は事務局長に、国光会員となり、他は全員留任となりました。



2月 30周年記念式典 2月15日

出席60名【3名(来賓他)】

於 釧路パシフィックホテル

釧路あすなろクラブ 創立30周年記念式典

(詳しくは、P36に掲載)

3月 例会 3月5日 出席44名

於 道東経済センター

担当第4部会

「我々は本当に働き過ぎなのか！」時間短縮の中で企業の生き残り策。

講師＝労働基準監督署 次長 中島秀司氏
街の活性化は 企業の活性化でもある、そこで「労働時間短縮」へと進む時代の中で一方では職場での「過労死」が労災に該当するか否かの問題等が、我々小零細企業の立場として、どの様に対応していかなければならないか。

総論として保険は必要だが時短を実施して経営が成り立つかが疑問？

4月 例会 4月6日 出席47名

於 道東経済センター

担当部会第1部会

「このままでいいのか旧釧路川！」リバーサイドの現状と未来を創造する。

今回は旧釧路川の有効利用を考えることとなり、4月例会では旧釧路川の現状報告をいたしました。

5月 例会 5月7日 出席49名

於 道東経済センター

担当部会第2部会

「なるほど THE 946 裏話」

●ししゃもの卵の数探し

—————大谷真市会員 考案

●市内の炉端の店舗数の探し方

—————佐藤茂良会員



6月 例会 6月5日 出席37名

於 道東経済センター

担当部会 第3部会

「企業誘致の実態と課題 PART1」

①最近の企業進出一覧(釧路市、白糠町)

②東京事務所の活動内容

③釧白団地の現状

④進出企業に対する優遇制度一覧 等

上記項目について、青木会員、稲場会員より釧路の企業誘致の実態と課題について詳しく説明して頂きました。

7月 臨時総会 7月7日 出席44名

於 ヒルトップ(ピアホール)

【臨時総会】

議案 ①会則第5条第2項の修正について。

②クリスマス予算増額について。

上記の通り二議案を決議し臨時総会を終了致しました。

臨時総会終了後出席者全員で懇親会を行ないました。

8月 例会 8月6日 出席39名

於 釧路パシフィックホテル・新館

【テーマ】人口20万人を割る日なにか起こる！

「釧路市と帯広市の逆転はあるか？」

釧路市は最近、毎年2千人ずつ減少していて今後も漁業、炭鉱等の影響で人口減少は増加する可能性が大きい、試算では平成6年中に20万人を割っても国、道の影響は無く市会議員の定数が4人の減となる。

帯広との人口数の逆転はH12年までに現実となるだろう。逆転した場合、今活動中の分県論も「道東の中心都市は釧路だ」と云う事で盛んに活動しているが、分県が実現したが県庁所在地が帯広となると大変な事になる。その為にも釧路町との合併が今一番に手を打つ事だと思われる。帯広は農業が主で開拓した土地を耕し種をまき収穫しているのに対し釧路は地下の石炭を掘り、海の幸をとり 輸入した材料で紙を生産しているが、それぞれの業界とも資源をただ同然に取り尽くすだけ、この所に帯広との気質の違いが大きいと思います。

9月 例会 9月7日 出席37名

於 道東経済センター

【テーマ】担当部会1部会・このままでいいのか旧釧路川 PART II

「リバーサイドの未来を創造する！」

アドバイザー・釧路市都市開発部都市計画課、課長補佐 飯田克夫氏

今回部会で貴重なアドバイスを頂いた都市計画課の飯田様に例会にも出席をお願いし研究結果のアドバイザーとして参加して頂きました。

10月 例会 10月6日 出席39名

於 道東経済センター

(担当第2部会)

「パネルディスカッション 釧路湿原の利用」

今回、ゲストパネラーとして、浜中町、湿原ファンクラブ代表、伊東俊和氏。鶴居村、ネット

ワークTEN、大津泰則氏。釧路市、ボランティア活動家、山口房伸氏。釧路市、地域故郷青年会議、本間裕氏。釧路町、釧路広域市町村圏事務組合 次長、羽根田純壽氏。釧路市、自然ウォッチングセンター、三木昇氏。転勤者、日本旅行釧路支店長、小松和雄氏。以上七名の方々に出席いただき釧路湿原の利用について語っていただきました。

10月 管外例会 10月17日・18日 出席27名

於 川湯観光ホテル

管外研修は、講師に、釧路市役所助役 森貞雄氏を迎え「釧路市の将来について」を講演して頂き、引き続き森助役を交え、懇親会。ご苦勞様でした。



11月 例会 11月6日 出席37名

於 道東経済センター

PART II こんな考え方もあるよ！（担当第3部会）

(観光・スポーツ・流通)

今回当部会は3班に分かれ観光、スポーツ、流通に関し調査発表致しました。

石田(敏)会員—〔観光〕来年のラムサールと活性化について。

稲場会員—〔スポーツ〕アマチュアスポーツに注目し釧路の活性化の為の接点について。

飯飼会員—〔流通〕釧路地域の流通業界の合理化、近代化を図る為め、釧路総合物流センターの建設促進について。

12月 クリスマス例会 12月6日

出席52名 37名(同伴者)42名(小中幼)

於 パシフィックホテル・新館

去る12月6日(土)あすなろクラブ家族クリスマス・パーティをパシフィックホテルにて開催いたしました。担当部会の3部会の皆様と中

村会員のご協力のおかげで、多数の会員、家族の方々に出席頂き、ゲーム等で楽しいクリスマスパーティと成りました。レクレーション委員の皆様大変御苦勞様でした。



平成5年度

1月 第31期総会 1月24日 出席64名
於 十条会館

会則第14条により、過半数を持って総会が成立しました。国光事務局長の開催の辞につづき、信条朗読、伊東会長の挨拶がありました。議事進行にあたり議長に小林会員が選出され、議案が審議されました。

第31期新役員

相 談 役	伊 東 良 孝
会 長	本 間 鉄 夫
副 会 長	宮 沢 昌 典 飯 飼 常 寿
事 務 局 長	稲 場 文 男
事 務 局 次 長	加 賀 省 二 青 木 準 司
監 事	岩 田 守 寺 前 利 彦

2月 例会 2月4日 出席38名
於 道東経済センター



執行部担当例会

講師：木村 勲様（釧路商工会議所専務理事）
演題：「釧路・・・今・・・転禍為福」

年明けは天候も穏やかでしたが、1月15日の

地震により情勢が一変しました。通産省と連絡、物価動向調査をしたのですが、幸いにも業界の方々の協力により災害時の物価上昇は、ありませんでした。ただ今回の地震で市内にある1万2000件の事業所で約120億円もの被害があると思います。復旧のため公共事業の拡大と地元企業発注の増額を関係官庁に陳情しています。

3月 例会 3月4日 出席41名
於 道東経済センター

執行部担当例会

【テーマ】あすなろクラブ・和を考える

当日は部会別懇親会の形で、ビールを片手に今年の部会活動について懇談しました。

研修発表内容 部会テーマは、下記の様になりました。

- 第1部会…ゴミの処理問題
- 第2部会…エイズ問題
- 第3部会…スタッドレスタイヤの波及効果
- 第4部会…健康について
- 第5部会…未定
- 第6部会…未定

4月 例会 4月2日 出席36名
於 道東経済センター

4月例会担当 第1部会 講師例会

【テーマ】今問われる産業廃棄物の処理の行方・取り巻く環境
講師 ・釧路市環境リサイクル担当参事 米田 忠幸 殿

5月 例会 出席47名
於 道東経済センター

5月例会担当 第4部会 研修例会

【テーマ】健康について

成人病予防について・健康と生命保険
研修発表者・森下勇会員・栗野泰幸会員
例会レポート 第4部会 佐藤忠和会員

人は健康でなければ何をするにおいても、始まりません。当クラブでも、成人病が気にかかる方々が増え、ほとんどの方が、健康診断を受けており、健康についての関心の高さをあらためて実感しました。

6月 例会 6月3日 出席45名
於 道東経済センター

6月例会担当 第2部会 研修例会

《テーマ》エイズ110番

(エイズ専門医による現状と予防対策)

講師 北海道釧路保健所 大角晃弘医師

エイズとは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染して起こる疾患で、感染すると身体を病気から守る免疫系といわれるものが破壊されて、身体の抵抗力が低下します。

日本で初めての患者が発見されたのが1985年。1990年には97人だったエイズ感染者が、1991年だけで238人と約2.5倍に増えてきています。

エイズは予防できる病気ですが危険は避けたいものです。

7月 例会 7月7日 出席48名

於 MOOサッポロビールピュアライオン

7月例会担当 事務局 ふれあい例会

【テーマ】フリートキョウタイム

当日は、フリートキョウとして、議題を設けず会員相互の話題で終始しました。限られた時間での例会でしたので、多くの方がその後、末広町へ流れたようです。

8月 例会 8月3日 出席44名

於 道東経済センター

8月例会担当 第3部会 講師例会

【テーマ】スタッドレスタイヤと交通事故

講師 ・横浜ゴム釧路支店
技術サービス課長 門馬 隆殿
・住友海上火災保険釧路支店
北海道損害調査部
釧路事故サービスセンター所長

原 三知男殿

昨年12月に、全面禁止になったスパイクタイヤに代わって、現在北海道の冬道には、絶対欠かす事の出来ないスタッドレスタイヤについて、課題を取り上げて見ました。

9月 例会 9月2日 出席30名

於 道東経済センター

9月例会担当 第6部会 講師例会

【テーマ】忘れた頃にやってくる災害

釧路沖地震と北海道南西沖地震にみる災害と津波の影響

講師 ・前札幌管区気象台技術部観測課

地震津波火山監視センター主任

技術専門官

現釧路地方気象台技術課長

山内義敬殿

今回、2つの地震についてのメカニズムの違い、地震の規模、津波の影響など、釧路気象台の専門家を招き講演していただきました。地震は、いつくるかわかりません。日頃から心構えが、必要です。

10月 例会 10月7日 出席27名

於 道東経済センター→定光寺

10月例会担当 第5部会 体験例会

【テーマ】「無」—無について考える
まず種々考えた中で

①全員、一人も眠らない例会

②全員、一人も無駄話をしない例会

①、②をしかも私達の手をわずらわせないでやれる、そんな事を部会長は一人心中で願っていた。しかし、これはあくまでも別な次元の事である。結果として100%クリアした座禅である。不安定で、不景気で、無気味な世の中が来た。何かを求め続けて来た日本人。今一度自分を見詰め直して見よう、と言うことで座禅となりました。

11月 例会 11月6日 出席29名

於 阿寒町赤いベレー

11月例会担当 事務局 管外研修・講師例会

【テーマ】阿寒町の概要と現状

講師 阿寒町長 月館俊松氏

当日は、予定の時間をオーバーするぐらい熱の入った講演で当初予定していた“赤いベレー”誘致の話しには入れず残念でしたが、まちおこしにかける月館氏の熱意には、感動しました。



12月 家族クリスマスパーティー

12月4日 出席40名・同伴者23名

小中幼39名・招待客1名 合計103名

於 十条会館

あすなろクラブ家族クリスマスパーティーを十条会館にて開催いたしました。多くの会員、家族の皆様に出席頂き、食事、ゲーム、プレゼントなど楽しいクリスマスパーティーとなりました。レクレーション委員の皆様大変御苦勞様でした。

平成6年度

1月 32期総会 1月22日 出席54名

於 道東経済センター

会則第14条により、過半数を持って総会が成立しました。稲場事務局長の開催の辞につづき、信条朗読、本間会長の挨拶がありました。

第32期新役員は、次のとおりです。

相談役 本間 鉄夫
会長 宮澤 昌典
副会長 稲場 文男 飯田 正幸
事務局長 安藤 栄治
事務局次長 加賀 省二 大谷 真市
監事 中尾 嘉男 関 昭次



2月 例会 2月3日 出席39名

於 道東経済センター

《テーマ》「釧路支庁の役割と課題」

講師 橋本 英正 氏 釧路支庁 地方部長
橋本氏の講演は、今までの仕事の足跡と、釧路支庁並びに北海道庁の機構、仕組みの説明と進んで行き釧路管内の経済状態の解説をして戴きました。

3月 例会 3月4日 出席42名

於 道東経済センター

《テーマ》「釧路あすなろクラブ 現在、過去、未来」

・ゲストコメンテーター 横沢 一夫氏

釧路新聞編集局長

・あすなろ30年の足跡 今田 英三 会員

・あすなろクラブの現状 稲場 文男 会員

・司会 児玉 有史 会員

我、あすなろクラブも年月の経過と共に会員の構成が様変わりして参りました。平成元年以後の入会者が反数以上になり現在、クラブの過去を振り返りつつ 未来を見つめてみたく企画してみました。

4月 例会 4月5日 出席34名

於 道東経済センター

《テーマ》『釧路市経済の概況と主要プロジェクト』

講師 後藤 敏夫 氏 釧路市 助役

釧路市の人口が、先日(4月4日)には、200,273人に戻ったが、瞬間最大風速とは云え、19万人台への転落と言った、ショッキングな話しが冒頭になされた後、釧路市経済の概況を、資料に基づき解説をして頂きました。

夢ではなく、現実が間近な釧路市21世紀への主要プロジェクトに関しての後藤助役様からの幅広い内容の講演でした。

5月 例会 5月10日 出席32名

於 道東経済センター

《テーマ》生き残りをかけて今・・・

3企業に見る、その戦略をさぐる！

“生き残りをかけて今”と言うテーマで3企業に、現状と将来について動向をスライドを交えて お話して戴きました。



発表社 「丸中釧路中央青果株式会社」

テーマ 市場の役割と、青果物の変化

「株式会社ナラサキフーズ」

テーマ 明太子市場の現況、魚卵について

「畑電機株式会社」

テーマ 漁業衰退の中の生き残りをかけた変化
司会 木内会員

6月 例会 6月3日 出席38名

於 道東経済センター

《テーマ》21世紀に豊かな自然をのこすために・・・

・ ポストラムサール「水郷水都」全国会議
釧路大会について

・ 地球に残された貴重な生物「まりも」の不思議

講師 北海道大学釧路校

教授 神田 房行 氏

7月 例会 7月7日 出席41名

於 道東経済センター

《テーマ》あすなる見本市

事務局企画による、「あすなる見本市」は26社の協力により無事終了致しました。展示品に各社の工夫がうかがえ、短時間でしたが、大変見ごたえのある内容でした。

8月 例会 8月9日 出席25名

於 道東経済センター

《テーマ》『ゴミの分別収集について』

講師 釧路市役所環境部 米田 忠幸 部長

釧路市は、リサイクルを柱とした新しいごみ処理体系によってごみの減量を進めるため、《再生出来る資源物・可燃ごみ・不燃ごみや焼却不適ごみ・有害ごみ・粗大ごみ》に分けて集め、それぞれ別途に処理する5分別収集を10月から試行実施します。

9月 例会 9月6日 出席30名

於 MOOフィットネスセンタープール



《テーマ》『服を着たままの水泳』

実際体験した方は、さぞ大変だったろうと思います。反省点としては、初めてでしたので、体系的に学習出来なかった事とありますが、MOOの水泳の先生も一緒に体験しましたので、これをきっかけに新しいMOOのカリキュラムに入り、小さな子供達はもとより 家族みんなが安心して水に接する事が出来る様に発展して下さい これが大きな芽となるであろうと念じております。

10月 管外研修 10月1～2日 出席28名

於 厚岸コンキリエ

《特別講演》厚岸町 澤田 昭夫 町長殿
今年 厚岸地域観光の拠点として完成した コンキリエ内会議室にて、澤田町長の厚岸発展にかける意気込みを、聞きました。厚岸町の歴史と産業の構造変化を解説してもらい、新しい発展の原動力を観光にかける町長の姿には、年齢を感じさせない物がありました。また宿泊先のホテル金万では、あすなるクラブの将来について遅くまで討論が続きました。

11月 臨時総会 11月4日 出席29名

於 道東経済センター

議題 1)部会編成について

・・・事務局提案

2)会費値上げについて

・・・事務局提案

臨時総会終了後 軽食とアルコールで懇親を深めました。

12月 家族クリスマス例会 12月4日

出席112名

於 釧路パシフィックホテル

あすなるクラブ家族クリスマスパーティーを釧路パシフィックホテルにて開催いたしました。多くの会員、家族の皆様に出席頂き、食事、ゲーム、プレゼントなど楽しいクリスマスパーティーとなりました。レクリエーション委員の皆様大変御苦勞様でした。

平成7年度

1月 第33期総会 1月22日 出席46名

於 国際交流センター

第33期定期総会では、国際交流センターで、PM5時より開会、議長には、寺前氏を選出。

新役員は、次の通りです。

会 長 市橋 清捷
副 会 長 木内慎太郎
副 会 長 青木 準司
事務局 長 石田 博司
事務局次長 大谷 真市
事務局次長 中村 正嗣
監 査 佐藤 誠一
監 査 畑 稔

2月 例会 2月14日 出席34名

於 幣舞荘

クラブ2月例会は、市橋会長の年間テーマ『明日のあすなろクラブを考える』をふまえて、初めに『創立の理念』を今田英三会員より話していただいた後、我があすなろクラブの現状を意見発表の形で各部会より代表者に語ってもらった。

3月 例会 3月7日 出席35名

於 幣舞荘

クラブ3月例会は、各部会代表者より下記のテーマについて意見を発表してもらった。

- 1業種1名の再検討
- 入会承認のあり方
- 入会時期の検討
- 長期欠席者への退会勧告の件
- 管外研修の内容の見直し
- 厳島神社例大祭への対応の件

4月 例会 4月7日 出席29名

於 幣舞荘

クラブ4月例会は、各部会代表者より下記のテーマについて意見を発表してもらった。

- 会長選任の方法の検討
- 正副部会長選任の方法
- 6部会制の再検討
- 女性会員受入れについて
- 会長経験者の再登板について

5月 例会 5月9日 出席25名

於 幣舞荘

クラブ5月例会は、最後の議題である特別会員制度について、木内副会長を進行役とし、各

部会代表者より意見発表をしてもらった。

6月 例会 6月7日 出席21名

於 幣舞荘

クラブ6月例会は、PL法（製造物責任法）の7月1日施行を目前にして、施行後は何が変わるのか、どんな業種にどんな影響が及ぶのかを、住友海上火災保険㈱札幌支店開発課長の岡本氏をお迎えしての講師例会を開催した。

7月 懇親例会 7月14日 出席37名

於 笛園ビル とん崧

クラブ7月例会は、笛園ビル『とん崧』にてアルコール例会を開催した。

通常通りの信条朗読に続き、市橋会長の挨拶の後、大いに飲み、食い、且つ語り合った。

当日はビール好きの多い会員のために、宴会場に特別に樽生を用意してもらい、空模様はあいにくの豪雨ではあったが、外の天気を忘れたかのように座は盛り上がった。

8月 臨時総会 8月7日 出席31名

於 幣舞荘

8月例会は、かねて予告の通り、会則改正に向けての臨時総会を開催した。議長に森下勇会員を選任し、会則第14条に従い出席者数31名、委任状出席12名により本総会の成立が確認され、議事に入った。

大きな変更の項目は冒頭に掲げた『会の目的』の他、会員の入会資格、特別会員制の廃止についてであったが、満場一致にて会則の改正が決められました。



9月 野外レク 9月10日 出席17名

於 大谷公園

クラブ9月例会は、大谷会員のお父上が丹精込められた大谷公園（遠矢）にての野外レクレーションを実施した。参加者は18名と少なくは

あったが、会話が大いに弾み、終了の2時があったという間であった。

大谷家のご厚意に紙面を借りて心より感謝申し上げます。有り難うございました。



10月 例会 10月13日 出席33名
於 幣舞荘

クラブ10月例会は、本会会員の伊東良孝道議会議員を講師に迎え、道政参画6ヶ月間の政治活動の中から、様々な問題点をエピソードを交えながら語ってもらった。また、札幌から新たな視点でとらえた釧路がどのように写り、どんな問題点があるか等も、率直に語ってもらった。

6ヶ月間という短期間にも拘らず、数多くの懸案事項に体当たりしている政治家、伊東良孝氏のバイタリティーと、その手腕には驚きを感じると同時に深い尊敬の念を抱いた。

11月 例会 11月7日 出席23名
於 幣舞荘

とき 11月7日 (火) 午後6時30分～
ところ 幣舞荘

内容 『私の仕事～私の人生～私の愛する釧路』

講師：日本銀行釧路支店 支店長・福田仁司氏
福田氏は平成5年に釧路に着任。その人柄で広く市民に親しまれていらっしゃる。今例会では、普段私たちの知らない日銀券(お金)についてのことや、ご自身の人生観、自他共に認める“釧路大好き人間”として釧路を語って頂きました。

12月 家族クリスマス例会 12月3日
出席36名会員

於 釧路パシフィックホテル
恒例のあすなろクラブ、家族クリスマス例会

が、釧路パシフィックホテルに於いて、36名の出席で行なわれました。

開会の挨拶に続いて、畑会員のサンタクロースの入場で、子供達にはお土産が手渡され、なごやかな内に、パーティーは進み、屋台のそば、アイスクリームが好評で、無事クリスマス例会も終了しました。

平成8年度

1月 第34期総会 1月24日 出席35名
於 釧路パシフィックホテル

第34期定期総会が釧路パシフィックホテルで開催され、市橋会長が再選され、執行部も、全員留任する事となり、再任なった市橋会長より、平成8年度年間テーマとして、『研鑽と友情』が述べられた。



2月 例会 2月15日 出席24名
於 幣舞荘

2月例会は15日(木)、ぬさまい荘にて萬木建設(株)代表・漆崎 隆氏より

『私の人生・私の仕事』～起業家に聞く・・・と題し、講演を頂いた。

36歳の時、急逝された萬木建設の創業者、木村氏の株を買い取り会社経営を始め今に至るわけだが、一時間の講演の中で、現在までの波乱に富んだ氏の生き方から、多くのことを学ばせて頂いた。

3月 例会 3月7日 出席23名
於 経済センター

3月例会は、道東経済センターにおいて帝国データバンク釧路支店支店長 境 重信氏より『発想を変えよう～伸びる企業はここが違う～成功企業の事例紹介』と題し、講演を頂いた。

全国で、業歴10年から15年で新成長している

企業を色々な観点から分析してみると、共通して言えることは、顕著に売上が伸び特殊なノウハウを持っていることが分る。

4月 例会 4月9日 出席26名

於 経済センター

4月例会は9日(火)、道東経済センターにおいて会員の伊東良孝道議会議員をコーディネーターとして、ゲストパネラーに釧路全日空ホテル総支配人・峯岸輝雄氏、SPEC代表取締役・菊地史郎氏、北の編集室代表・佐藤隆則氏を迎えて『釧路を叱る～釧路発展のために』と題したパネルディスカッションを行なった。

釧路の印象について、佐藤氏は釧路の街づくりを例に取り、無駄や計画性の無さを許容している釧路人の“鷹揚さ”を指摘した。

菊地氏は、若い世代の雇用創出を図ることから活性化につながるということを知るべきで、投資育成社会などにも目を向ける幅広い視点の必要性を提言された。



峯岸氏は、観光産業の重要性を強調されたようで、魅力ある道東の観光拠点として自信をもって努力すべきであると結ばれた。

三氏の見識の高さに敬意を表するとともに、的確な指摘・提言に心より感謝するものであります。

5月 例会 5月9日 出席16名

於 経済センター

5月例会は9日(木)、道東経済センターにおいて(株)釧路スイミングクラブ代表取締役社長・古屋英昭氏を迎えて『水泳コーチから見た健康づくり』と題した講演をいただいた。

氏の率直な語り口は、時に笑わせ、時に深くうなずかせ、1時間半に及ぶ講演を飽きさせることなく聞かせた。あすなろ会員にとっては、

企業経営の点でも、普段気になる健康の面でも大いに参考になったようだ。

6月 例会 6月12日 出席24名

於 生涯学習センター

第3部会担当による6月例会は12日(木)、生涯学習センターにおいて『日本の伝統を体験する～茶道』と題した体験例会を開催した。

初めに、裏千家淡交会・上林宗律先生による講話をいただいた。

その後、場所を変えてお茶の体験である。一応、行儀よく正座をするのだが、痛さにこらえるまでもなくすぐに膝は崩れ、お互いをからかい合う、和やかさの満ちたひとときとなった。

終えて、ふと、家でもやってみようかと思った。雑事に追われている私たちにとって、身近にありながら、なかなか触れることのできない貴重な体験であったと思う。

7月 例会 7月9日 出席26名

於 生涯学習センター

第2部会担当7月例会は、7月9日(火)、生涯学習センターにおいて『地酒・福司の実力』と題し、福司酒造(株)代表取締役・梁瀬誠也氏を講師に迎え、地酒・福司創業の成り立ちや酒造りの苦労話など、時代を追って講話をして頂いた。

8月 納涼例会 8月7日 出席22名

於 笛園ビル とん壺

8月例会は7日(水)、笛園ビルとん壺において22名の参加のもと、納涼例会を開催した。信条朗読に続いて、会長挨拶ではO-157について触れ、木内副会長の乾杯の発声で酒宴が開幕、楽しいひとときを過ごした。

9月 家族野外レクリエーション

9月8日 出席17名

於 春採公園

あすなろクラブ9月例会は、春採公園にて、家族も交えての野外レクリエーションを行なった。好天に恵まれ、家族共々楽しいひとときを過ごした。お世話くださった皆様有り難うございます。

10月 例会 10月8日 出席30名

於 生涯学習センター

あすなろクラブ10月例会は、この度の市長選挙に立候補予定の、綿貫健輔氏と後藤敏夫氏をお招きして、それぞれに、新しい市政に向けての情熱をお聞きした。

お忙しい中を時間を割いて下さったお二人には、正々堂々の戦いと、健闘をお祈りする次第。

11月 例会 11月25日 出席25名

於 生涯学習センター

あすなろクラブ11月例会は、年度末を控えて、市橋会長から二年間の総括と、稲場次年度会長からは新年度への抱負を語って頂き、出席者でアルコールをとりながら、あすなろを語り合った。時節柄か、出席率が大変低くはあったが、楽しいひとときを過ごした。

12月 家族クリスマス例会 12月1日

出席30名 41名同伴及び子供

於 釧路パシフィックホテル

早いもので、平成8年の最後を飾るクリスマス例会が、パシフィックホテルで行なわれ、市橋会長の信条朗読・挨拶につづいて、宮沢前会長の乾杯の音頭でサンタさんが入場、沢山のお土産を、子供達に配っておりました。ゲームでは、ビー玉皿移しやら、中村会員の司会で楽しい一時となりました。

皆様ご苦勞様でした。大申委員長さん有難う御座居ました。



平成9年度

1月 第35期総会 1月19日 出席35名

於 釧路パシフィックホテル

会則第14条により、過半数を持って総会が成立しました。石田事務局長の開会の辞につづき、信条朗読、市橋会長の挨拶があり、永年在籍会

員及び皆勤者表彰が行われました。

議事進行にあたり議長に本間鉄夫会員が選出され、議案が審議されました。

第35期新役員は、下記のとおりです。

会 長 稲場 文男

副 会 長 中尾 嘉男 大申 希昭

事 務 局 長 大谷 真市

事務局次長 児玉 有史 伊藤 雅章

監 査 本間 英俊 谷口 正四

2月 例会 2月6日 出席27名

於 生涯学習センター

日本製紙アイスホッケー部監督、日本アイスホッケー連盟強化本部長を歴任され現在昭和スポーツ幼稚園園長、釧路教育委員会委員長として御活躍されております矢口氏に講演をして戴きました。

先般釧路市で行われた国体での裏話や、受入側の対応及び諸問題も語って戴き又今の教育界での先生としての立場や指導方法なども語って戴きました。

最後に矢口氏は会員の皆様が我が郷土、地域に何かと関わっていて下さいと締めくくりました。

以上大変幅広い内容の講演でした。



3月 記念例会 3月23日 出席41名

於 釧路パシフィックホテル

釧路あすなろクラブ

創立35周年記念例会

(詳しくは、P38に掲載)

4月 例会 4月8日 出席28名

於 生涯学習センター

4月例会は第4部会担当例会で、テーマを『石炭産業の現状と将来の展望』と題し講師に太平洋炭硯総務課長の菊池靖則氏を招いて行わ

れた。

講演ではまず太平洋炭砒の現状をスライドを交え紹介いただいた。

そして企業として存続をかけての努力（例えば新規採用を止め少数による効率化及び最新型機械の導入によるコストダウン等）を続けている事などの説明をいただいた。

それでもなおかつ埋まらない内外価格差や国の石炭政策の方向性など、とりまく環境の厳しい現状についても説明いただいた。

その後本会員より存続の意義及び見通し、グループの経営多角化の現況、地域に対する経済的影響度など、かなり突っ込んだ質問がなされ熱気のある例会となった。

5月 例会 5月8日 出席32名

於 生涯学習センター

発表者：安藤栄治 市橋清捷 加賀省二 佐藤修一 司会 本間鉄夫 各会員

テーマ：『釧路の港を考える』

釧路港は、明治23年特別輸港に指定され、明治32年8月4日普通貿易港として開港しました。その後大正11年南防波堤完成。昭和13年北埠頭の埋立工事着工、昭和26年重要港湾指定、昭和33年中央埠頭建設工事着工、昭和36年西港計画の素案が発表され44年着工し現在に至っています。

6月 懇親例会 6月6日 出席34名

於 笛園ビル とん崑

6月例会は事務局担当の懇親例会で、稲場会長の挨拶の後4、5月担当の第4、第2各部長より総括報告がありました。

その後アルコールを交えながら会員相互の交流と親睦を深めました。

7月 例会 7月8日 出席26名

於 生涯学習センター

7月例会は第1部会担当例会でテーマを『国際社会における日本と釧路』と題し講師に鈴木宗男代議士を招いて行われた。

北方領土問題や矢白別の現状を説明して頂き又国際人としての心の持ち方などについて話して頂きました。

会員の色々な質問にも答えて頂き熱気のある例

会となりました。



8月 例会 8月8日 出席29名

於 生涯学習センター

テーマ：『釧路町・釧路市の合併を考える』

第1部 資料で見る釧路町・釧路市

第2部 合併推進反対無関心派意見発表討論

第3部 質疑応答・総括

8月例会は、第2部会の加賀会員の応援を得ながら、第3部会会員の皆様と協議して行く傍ら、釧路町・釧路市の歴史や、現状の一端が知り得た事それを担当部会にて発表し、さらに会員の皆様と一緒に勉強が出来た事は、意義が有った例会と思われます。

9月 例会 9月6～7日 出席15名

於 弟子屈当別 大鵬荘



9月例会は数年振りの管外研修にて1泊2日で弟子屈へ出かけました。

時節柄参加人数は15名の少々もの足りなさもありましたが、天候にも恵まれ親睦ゴルフの後大鵬荘にて例会が行われ畑会員、稲場会員のスピーチ（フリーテーマ）と続き懇親会へと移り大変盛り上がりました。

今回は会員以外の講師など呼ばずに会員相互のスピーチ等内容も本音であり非常に打ち解けた例会になったと思います。

10月 例会 10月7日 出席21名

於 生涯学習センター

10月例会は執行部担当例会で、テーマを『釧路経済の現況と予測』と題し講師に帝国データバンク釧路支店長の伊藤辰男氏を招いて行われた。

講演ではまず全国・全道・釧根の経済を対比し釧根経済の特徴及び現在の状況を分析していただいた。

11月 例会 11月7日 出席25名

於 生涯学習センター

11月例会は執行部担当例会で、テーマを『次期執行部への提案』と題し稲場会長の挨拶の後7、8月担当の第1、3各部会長より総括報告がありました。

その後、各部会より次期執行部への提案をして頂き最後に次期会長に内定している木内会員より次年度のあすなるクラブを語って頂き大変内容の濃い例会となりました。

12月 家族クリスマス例会 12月7日

出席33名

於 釧路パシフィックホテル

あすなるクラブ家族クリスマス例会を釧路パシフィックホテルにて開催いたしました。多数の会員、家族の皆様にご出席頂き、食事、ゲーム、プレゼントなど楽しいクリスマス例会となりました。

クリスマス委員の皆様大変御苦労様でした。

平成10年度

1月 第36期総会 1月18日 出席38名

於 釧路パシフィックホテル

平成10年度定期総会は、釧路パシフィックホテルで開催。出席38名の内、青木会員が議長に選出され、議案が審議されました。新役員は以下の通り承認されました。

会 長 木 内 慎太郎

副 会 長 畑 稔

ク 平 野 幹 雄

事務局 長 谷 口 正 四

事務局 次 長 本 間 英 俊

ク 佐 藤 誠 一

監 査 佐 藤 茂 良

ク 野 口 仁

2月 送別例会 2月6日 出席36名

於 案山子

2月例会は、昨年クラブを退会なされた、チャーターメンバーの今田氏による、「釧路あすなるクラブへ物申す」をタイトルに、熱く語って頂きました。本席は、今田氏の送別と慰労の会も併せて行ない、沢山の方々の参加を得て、楽しい一時となり、本会より、感謝状と記念品を贈り、感謝の意を表しました。



3月 例会 3月6日 出席33名

於 釧路プリンスホテル

3月例会は、久しぶりに、本会員の伊東道議会議員による「民意を道政に」の講演を頂きました。

伊東会員は、本会より、政治の道へ本格的に挑戦し、市議を経て、正義感溢れる北海道議員として、活躍されております。一層の健闘を、期待致します。

4月 例会 4月7日 出席25名

於 釧路プリンスホテル



4月例会は、『歴代会長のクラブ発展を共に歩んで』と題し、17代会長 泰地秀信、20代会長 宮沢昌典、22代会長 稲場文男氏3名の出席で行なわれ、会長当時の思い出や苦労話し等、

これからのクラブ運営に対して貴重なお話しを賜りました。

5月 例会 5月7日 出席25名

於 釧路プリンスホテル

5月例会は、『活躍するグループを紹介』と題し、飯田正幸会員・稲場文男会員・泰地秀信会員・三輪昌博会員の4名が、現在各々が所属して活躍しているそれぞれの会の、設立の経緯・諸経費・会員数・活動等について、さらに本会との比較もあって、意義の有るお話を、賜りました。

6月 例会 6月5日 出席39名

於 釧路プリンスホテル

「綿貫市長と語る」

久し振り（昭和60年）に釧路市長をお招きして、各部会からの質問、提案事項を綿貫市長が2時間に亘り答弁、ご説明して戴き、熱の入った中身の濃い例会であったと会員皆様から評価のあった例会でありました。

綿貫市長の今後のご活躍、市の活性化を願い、ご出席を感謝致します。



7月 家族野外レクリエーション 7月19日
出席16名

於 新釧路川河畔公園

7月例会は、前日より、悪天候の為、中止か、又はテントを張っての、野外レクリエーションかと、執行部が迷った割には、当日は、絶好の野外レクリエーション日和り。

右側に新釧路川を望む河畔公園で、厚岸より沢山の生カキを炭火で焼き、サンマ、イカと生ビールも一層の美味を誘った野外レクリエーションでした。

設営に協力を頂いた会員・役員の皆様ご苦勞様でした。

8月 ビール例会 8月7日 出席28名

於 MOO銀座ライオン

8月例会は、前月の野外レクに続いて、2ヶ月続くアルコール例会で、出席率が気になる所でしたが、意に計らず、28名の、倍の出席が見込まれた、ビール例会でした。

さすがに、本会の伝統は、強く残っていました。

9月 例会 9月8日 出席27名

於 釧路プリンスホテル

『あすなろクラブ40周年に向けて、資料の保存と、内規の作成』

9月例会は、クラブ発足来、36年間引継ぎして来た書類又、執行部が、これから保存運営する為の、クラブの内規、引継ぎ類を討議して頂き了解を得ましたので、執行して参ります。

10月 管外懇親例会 10月17～18日

出席24名

於 川湯観光ホテル

10月の管外懇親例会は、本会恒例の、一泊例会で、川湯温泉の、川湯観光ホテルで行われました。前年より再開された、管外研修でもあり、24名の参加の中、ゴルフ同好会の方は先発隊で、プレーの後、川湯入り。参加者一同は、懇親会を待ち切れず、缶ビールが足りなくなる程、豪快な飲みっぷりの為、急拠、缶ビールを手配した程、会員の皆様、一泊例会を楽しく過ごして頂き、年間テーマ「人と和す」を実践。



11月 例会 11月6日 出席23名

於 釧路プリンスホテル

「次期執行部への提案例会」

11月例会は、次年度会長に指名内定された飯田正幸会員と、本年度会長である木内会長による「次期執行部への提案例会」を行いました。

12月 忘年例会 12月5日 出席35名

於 釧路プリンスホテル

12月例会は、あすなろクラブは、長年、家族クリスマス例会を開催しておりましたが、クリスマス例会の予算は、本会の会運営に支障を来たすとの判断で年度当初の総会で、クリスマス例会を廃止し会員の忘年例会へと、移行を決定させて頂き、プリンスホテル様の格段のご配慮にもよりまして博多直送のふぐ料理で、忘年会を愉快地味わって貰いました。会員の皆様、お味はどうでした？

平成11年度

1月 第37期総会 1月9日 出席35名

於 釧路プリンスホテル

平成11年度、第37期総会がプリンスホテルで開催され、審議に先立ち議長選出をはかり、宮澤会員が議長に選出され、宮澤議長の進行のもと、議案が審議されました。

第37期役員は以下の通り承認されました。

会 長 飯 田 正 幸
副 会 長 谷 口 正 四
 〃 本 間 英 俊
事 務 局 長 福 田 紀 幸
事 務 局 次 長 関 昭 次
 〃 石 田 武
監 査 須 崎 幸 蔵
 〃 山 口 良 治



2月 例会 2月9日 出席27名

於 釧路プリンスホテル

例会テーマ 「ザッ 税金」

例会講師 青木孝志税理士事務所

税理士 青 木 孝 志

2月例会は「ザッ税金」というテーマで開催

致しました。青木税理士事務所の所長であります青木先生をお迎えし、税金に対して講演を頂きました。

最初は税金の種類の説明の後、税務調査の昔の方法と現在の調査の実態や方法をおもしろおかしくお話して頂きました。

3月 例会 3月4日 出席24名

於 釧路プリンスホテル

テーマ 「救急救命」

例会講師 釧路市東消防署武佐支署救急係

係長 矢 内 達 也

釧路市中央消防署救急係

主任 高 杉 浩

3月例会は「救急救命」というテーマで開催致しました。釧路市の消防署より2名の講師をお招きし、救急救命という、人命に係わる講義を受けました。



講義内容

1) 心肺蘇生法について

2) 実技指導

○観察要領 ○人工呼吸

○気道確保 ○心臓マッサージ

4月 例会 4月8日 出席27名

於 釧路プリンスホテル

テーマ 「会員スピーチ例会」

本例会は会員スピーチ例会といたしました。

杉山会員「会社紹介及び仕事関係」

太田会員「会社紹介及び仕事関係」

以下23会員。

スピーチの時間が2分30秒という事で大半の方が早く感じられ、思うように話せなかったと感じられた方が多いようです。時間の関係上短く設定した事を深くお詫び申し上げます。

5月 ビール例会 5月13日 出席29名

於 釧路パシフィックホテル

テーマ 「ビール例会」

本例会は久々に飲食の伴うビール例会でした。会員同志が飲み交わし大いに語りあえた例会だったと思います。

6月 例会 6月10日 出席37名

於 釧路プリンスホテル

テーマ 「暴力団と企業」

本例会は北海道釧路方面釧路警察署・刑事第二課暴力団対策係・刑事係長の高橋永保さんを講師にお迎えし「暴力団と企業」について講演を頂き、自分たちが知らない内に暴力団に間接的な協力をし、チョットの間を見せると必然と犯罪に巻き込まれる恐ろしさを感じました。

7月 例会・仮決算・会食の夕べ 7月8日

出席24名

於 釧路プリンスホテル

テーマ 「釧路あすなろクラブ 半期を終えて仮決算報告と会食の夕べ」

本例会は半期を終え、クラブの仮決算報告と会食の夕べを実施致しました。

いつものセレモニー後、仮決算を報告をし、その後プリンスホテルの13階のスカイレストランに上がり、会食の夕べと題し、会員の交流を深めました。

おかげさまで和気あいあいのなか、大変意義のあった例会であったと思います。これからも今年の年間テーマであります「交流」を主題に多くの交流の場を提供できればと考えております。

8月 家族レクリエーション 8月8日

出席18名

於 太平洋パークゴルフ場・ヒルトップ

テーマ 「家族レクリエーション」

本例会は家族を交え、スポーツをしながら会員及び家族のレクリエーションと位置づけ開催されました。当日は天気にも恵まれ、朝からさわやか気分でのぞみ和気あいあいのうちにパークゴルフを終えました。パークゴルフ終了後表彰式と食事会を兼ね会場をヒルトップビアガーデンに移し、これもなごやかな雰囲気の中に終え

る事ができました。

9月 一泊研修例会 9月11～12日

出席23名

於 阿寒湖ホテルエメラルド

テーマ 「一泊研修例会」

本例会は一泊研修例会として開催されました。9月11日、現地に4時に集合し、ゆっくり温泉に入ってもらい、6時より開催されました。

本年度の年間テーマである「交流」をふまえ、和気あいあいのなか、大いに交流を深めて頂いた例会だと思います。

10月 例会 10月7日 出席21名

於 釧路プリンスホテル

テーマ 「講師例会」

本例会は現在、丸中釧路中央青果株式会社取締役であり、本会のOBでもあります寺前利彦氏をお招きし、“一度、地獄を見た男”その時、学んだものと題しましてご講演をいただきました。同氏の講演は最初からインパクトのあるお話を頂き、商売上の駆け引きを中心に、今までの自分に対しての人生観等をお話して頂きました。



11月 例会 11月4日 出席32名

於 釧路プリンスホテル

テーマ インターネットを実践して見よう

本例会はNTT東日本様のご協力により“インターネットを実践して見よう”というテーマで開催いたしました。

最初にNTT東日本釧路支店営業部長の大澤哲夫氏により、インターネットの実情やISDN回線や通信情報について講演を頂きました。

12月 忘年例会 12月4日 出席29名

於 釧路プリンスホテル

テーマ 忘年例会

本例会は本年度最後の例会として忘年例会が行われました。

釧路プリンスホテルの宴会室で行われ、通常セレモニーの後、11月例会に於ける第1部会の100%例会出席の特別表彰が行われました。

その後、乾杯に続き懇親会が開催され、ゲーム等を通じ、今年のテーマであります「交流」が和気あいあいの中、おおいに計られたと信じます。

平成12年度

1月 第38期定時総会 1月15日

出席33名

於 釧路プリンスホテル

第38期あすなろクラブ定時総会が、1月15日、釧路プリンスホテルで開催され、飯田会長より、新年の挨拶と、1月12日に他界されました、立花会員のお話があり、その後、黙祷 福田事務局長の司会で総会に入りました。

市橋会員が議長に選出され、総会が進行されました。

今期、38期の新執行部は次の通りです。

会 長 安藤 栄治
副 会 長 中尾 嘉男 大串 希昭
事 務 局 長 佐藤 誠一
事 務 局 次 長 奥村 英和 宮崎 博好
監 査 畑 稔 伊藤 雅章

2月 例会 2月3日 出席27名

於 釧路プリンスホテル

2月例会は、伊東良孝会員を講師に迎え、『21世紀の北海道そして釧路』と題して講演して頂きました。

北海道も釧路も、金がない、この様な厳しい中であって、道民・市民の要望を聞き、予算等を獲得するのが、政治家の使命と心強い言葉を聞かされ、会の仲間として釧路市民として、心強く期待を抱いた事と思います。

本日は、時節柄ご多忙の中、講師をして頂き大変ご苦勞様でした。

3月 例会 3月9日 出席24名

於 釧路プリンスホテル

3月例会は、菊池吉郎会員を講師に迎え、『お宮に行こう』と題して、神社の基礎知識を知るをテーマに講演して頂きました。

日本の神様は、自然そのもので有り、自然を崇拝し、自然の恵みに感謝する気持ちが、お供えとして自然界に返す行為が、祠（ほこら）を建てるようになり、神社の形が出来上がったそうです。

4月 例会 4月6日 出席30名

於 釧路プリンスホテル

4月例会は、第1部会（須崎部会長）の担当例会で、及川郁伸会員を迎えて、テーマに『これが介護保険だ』と題して、講演して頂きました。

既存の「老人福祉制度」と「老人保険制度」に中、今までは家族主体であった介護を、今は社会全体で支え合う制度、これがこの度、スタートした介護保険だそうです。

5月 例会 5月11日 出席28名

於 釧路プリンスホテル

5月例会は、釧路新聞社 編集局長 伊藤豊様を講師に迎え、演題『最近の釧路における四方山話』と題して、講演して頂きました。

伊藤編集局長様より挨拶が有り、そして片山会長と『釧路あすなろクラブ』との関係等について昔話を色々とお話がなされた後、本題に入り、道東地元紙釧路新聞社の編集局長と言う立場で様々な資料・数字などを交えて、テーマにそって、広範囲にお話を頂き、最近の釧路を知らせて頂きました。

資料に見る開発予算の推移・他都市に比べての人口減少率・表情豊かな釧路等々、誇れる事が沢山有るのに、釧路市民は「隣の芝生を羨み」「灯台元暗」的感じが受けられる、会員も含め釧路市民はもっと自信を持つべき、そして街全体をイメージアップする努力を、経済研修団体会員各位としても実践してほしいとの旨提言が有りました。

私達会員に取っては、釧路地域を再認識する講演では無かったかと思えます。

近々共栄大通り7丁目の交差点も特殊舗装が成される様ですが、寝不足そして業務ご多忙の

中、講演をして頂きました 伊藤編集局長様には、改めて御礼申し上げますと共に、今後共当釧路あすなろクラブに対して、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

6月 ビール例会 6月8日 出席38名

於 釧路パシフィックホテル

6月例会は、事務局担当による懇親（ビール例会）例会で、安藤会長の挨拶の後、大串副会長の音頭で開催されました。

当日は、各部会員が偏らない様、クジ引きによって、指定されましたテーブルに着席して頂き、アルコールを交えながら、会員相互の交流と親睦を深めながらお互いが知りあって頂いたものと思います。

7月 例会 7月6日 出席28名

於 釧路プリンスホテル

7月例会は、第2部会（杉山部会長）担当月例会でありまして、テーマは『第2部会おおいに語る』で、杉山部会長が進行司会者。



8月 例会 8月10日 出席26名

於 釧路プリンスホテル

8月例会は、第3部会（野口部会長）の担当例会でありまして、釧路地方気象台 次長の藤田英治様を講師に迎え、『釧路地方の気象・地震』と題し、講演をして頂きました。

まず野口部会長より講師の略歴が報告された後、帯広を皮切りに道東を主に釧路が3度めと言う藤田様より自己紹介の後、本日のテーマに沿ってお話を頂きました。

身近にあり知っている様で知らない気象の事等、大変勉強になりました。

9月 一泊研修例会 9月9～10日

出席17名

於 別海町の施設にて

9月例会は、一泊研修例会でした。

雨が降りそうな天気でしたが、車に分乗して別海町に向かいました。

9月4日にオープンしたばかりで、まだ一度も使用されていないミルクランド（別海町酪農工場）で施設の説明を受けた後、さっそくバター造りに挑戦。（自作のバターに味はいかがでしたか？）

天気予報は雨と悪かったのですが、参加者の精進良く雨にも振られず意義有る体験研修例会だったと思います、参加者の皆様ご苦労様でした。

10月 例会 10月5日 出席27名

於 釧路プリンスホテル



10月例会は、釧路体力テスト員協議会 会長小田原恒雄様と幹事の佐藤裕子様を迎えてテーマ『己の体力を知る』で実施致しました。

事務局が御二人を紹介し、小田原会長より体力測定に係る事前説明がなされ、佐藤幹事さんの指導にて、準備運動の開始、ポキポキと言った音が聞こえ、身体の硬さを実感した所です。

11月 例会 11月9日 出席33名

於 釧路プリンスホテル

11月例会は、第4部会（斎藤部会長）の担当



月例会でした、2期目をスタートした釧路市長・綿貫健輔様を講師に迎え、テーマ『綿貫市

長への期待』と題して講演して頂きました。初めに斎藤部会長の挨拶が有り、柵木副会長が司会進行係として、先に提示してありました質問状に則り、質問し綿貫市長より説明をして頂きました。

12月 忘年会例会 12月7日 出席38名

於 釧路プリンスホテル

第38期 最後の12月例会は、恒例となりました忘年会例会でした。

本会も、1月から色々と有りましたが、会員相互の交流と親睦を深めながら、さらにお互いが“知”り合っていただけだと思います。

平成13年度

1月 第39期定期総会 1月13日

出席35名

於 釧路パシフィックホテル

平成13年度、39期総会が、釧路パシフィックホテルを会場に、午後6時より行なわれ、佐藤事務局長より昨年他界されました、立花会員、稲場会員2名のご冥福を祈り黙祷 その後、安藤会長より新年の挨拶、一年の活動を振り返りお話があり、佐藤事務局長の司会で総会に入りました。

木内会員が議長に選出され、総会が進行されました。

第39期新執行部は次の通りです。

会 長 中尾 嘉男

副 会 長 谷口 正四 大谷 真市

事 務 局 長 須崎 幸蔵

事務局次長 坂本 裕人 坂東 勉

監 査 本間 英俊 近藤 義男

2月 例会 2月8日 出席34名

於 釧路パシフィックホテル

「伊東道議活動報告」

太平洋炭坑事故に関して閉山に追い込まれ無きように危惧している。工業技術センター（大楽毛）の開設に当たり釧路の工業技術の向上につながる大事な施設です。

捕鯨についての現状と将来について等。

伊東会員には、長時間に亘り、我々釧路市のかかえる諸問題を、適格にお話しを語って頂き、

厳しい現状を、改めて認識致しました。

3月 例会 3月3日 出席25名

於 王子製紙釧路工場

3月例会は、王子製紙釧路工場様のご協力により「地球環境を考える」をテーマに施設見学を実施致しました。

ご協力頂きました王子製紙釧路工場の伊香賀管理部長、佐藤管理主任を始め従業員の皆様には夜遅くまで貴重な、お時間をさいて、ご協力頂き心より感謝申し上げます。

4月 例会 4月11日 出席39名

於 釧路パシフィックホテル

4月例会は、執行部担当で、「合同酒宴例会」を開催し、日頃、会員同士のコミュニケーションの場が少ないと考え今回の合同例会となりました。

出席された全会員の皆さんは、会員相互の意見交換を仕合い、和気合いあいと和やかな時間の中、例会を無事終了いたしました。

5月 例会 5月9日 出席28名

於 釧路パシフィックホテル

「マイラインと各種アラカルト」



5月例会はIT産業の中でも、最先端を進む、NTTの佐藤氏より、今話題のマイラインについてスライドを含めた、納得のいく説明を受け、通信網のコンピューター化に改めて感心を致しました。

6月 例会 6月6日 出席28名

於 釧路パシフィックホテル

6月例会は、執行部担当例会で、釧路ユネスコ協会 理事・釧路市監査委員、柴崎光一様を講師として迎えテーマ『幻想の世界オーロラに見せられて』

サブタイトル『再びその神秘的な輝きを求めて』

と題して講演が始まりました。

柴崎様の趣味は、写真撮影で始めは身近なものから始まりオーロラに興味を持ち2000年1月初めて、オーロラが放つ神秘的な自然現象を自分の目に収める為、又、写真撮影出来る事を夢見て目的地であるカナダのフォート・マクマレーに行き幻想的で神秘的なオーロラを見てカメラに収めることが出来たそうです。

7月 ビール例会 7月6日 出席41名

於 釧路パシフィックホテル

「ビール例会」

恒例となった、ビール例会ですが、さすが、アルコール例会は出席率が良いという、定説はまだ残っており、沢山の出席を得ました。会員相互の親睦を図り相互の見聞を広める為には良い機会でないかと思えます。非常に和やかな例会でした。

8月 例会 8月9日 出席33名

於 釧路パシフィックホテル

8月例会は、第1、第2部会（坂上、近藤部会長）の担当例会でありまして、元衆議院議員鰐淵俊之様を講師に迎え、『鰐淵俊之氏おおいに語る』と題し、講演をして頂きました。今の小泉政権のお話や釧路の三大基幹産業の将来、これからの地方政治あり方釧路周辺の町村合併問題等又、政治の面白いお話や駆け引き普段我々が、聞けないお話などユーモアを取り入れて、ご講演いただき大変楽しく又、大変勉強になり貴重な2時間でした。

9月 例会 9月7日 出席31名

於 釧路パシフィックホテル



9月例会は、「近隣町村から見た釧路市」として近年、合併問題で釧路市を核とした話題が盛んな中、白糖町長の棚野孝夫氏を講師に、お

話しを伺った。

合併問題について、釧、釧合併が非常に騒がれているが目先のことにとらわれず広い視野で望むべき又、広域合併も考え近隣町村との話し合いも必要ではないか。合併問題に対して住民の意識向上が必要。

以上、棚野町長より見た、広域合併問題等についても、棚野町長のしっかりした持論の元、慎重な態度が印象に残りました。

10月 宿泊例会 10月6～7日 出席23名

於 川湯観光ホテル

10月例会は、宿泊研修例会でした。午後6時30分より例会が始まり中尾会長より挨拶がありその後、大谷副会長の音頭で懇親会を開始、懇親会の中では余興などが用意され皆さん童心にかえり楽しんでおられ、なごやかな雰囲気の中、懇談され有意義な一日を過ごしました。

11月 例会 11月7日 出席39名

於 釧路パシフィックホテル

11月例会は、医学博士、加勢内科医院院長、加勢一夫様を講師に迎え、『生活習慣病』と題して講演して頂きました。

加勢先生は、成人病の権威で中でも糖尿病については、特に研究をされているとのごことで特に糖尿病について多くお話をされました。加勢先生には、ご講演いただき大変楽しく又、大変勉強になり貴重な2時間でした、大変ご多忙のところ貴重なお時間をさいて頂き誠にありがとうございました。

12月 忘年会例会 12月8日 出席40名

於 釧路パシフィックホテル

12月例会は、今年度又、39期最後の例会として忘年会例会が行われました。

釧路パシフィックホテル新館にて行われ、中尾会長にご挨拶を頂き谷口副会長の乾杯の音頭で忘年会例会が、スタートしました。

余興では様々なゲームが行われ先輩会員も新人会員も童心に戻り和気あいあいの中、会員相互の親睦を図れたと思えます。

特集 創立30周年記念式典

釧路あすなろクラブ創立30周年記念



〔記念講演〕

式典に先立ち、釧路公立大学長高嶋正彦氏より「現代の若者気質を考え大学教育の役割に及ぶ」をテーマに大変有意義な記念講演をして頂きました。

〔記念式典〕

30周年式典は、国歌斉唱、信条朗読、物故会員黙祷とつづき、伊東会長挨拶では、「釧路あすなろクラブも世界の動きを見つめ、21世紀を迎える街づくりのために、これからも知恵を出し、汗を流していきたい」と決意を新たに、「これまでのご厚情に深く感謝申し上げます。」と挨拶。続いて実行委員長経過報告では、「昨年2月より協議を重ね、組織、予算、開催要領等を決定し、執行部並びに各委員の協力を得て、本日の運びとなり心より感謝を捧げる次第です。」最上委員長挨拶のあと、来賓紹介、感謝状並びに在籍表彰をおこないました。（後記に氏名等を記載）

当クラブより、釧路市中小企業活性化基金へ10万円、釧路公立大学寄付金へ10万円、釧新教育芸術振興基金へ10万円を贈呈いたしました。

来賓の鰐淵俊之釧路市長、栗林定徳商工会議所会頭、片山陸三釧路新聞社長は「30年という歴史をたたえながらクラブの信条である、「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和す」を今後も堅持してほしい」と祝辞を頂きました。

来賓、会員多数の出席を頂き盛大に30周年記念式典、祝賀会を行なう事ができ、実行委員の方式典に携わった方々に心より厚くお礼申し上げます。



▲式典に参列された来賓の皆様

釧路あすなろクラブ創立30周年記念式典

と き 平成4年2月15日 PM4:00 ところ 釧路パシフィックホテル

出席 1部会14名・2部会12名・3部会13名・4部会15名

特別会員6名・来賓7名・元会員6名 計73名

●招待者御芳名●

御 来 賓

釧路市長 鰐淵 俊之 殿
 釧路商工会議所会頭 栗林 定徳 殿
 釧路公立大学学長 高嶋 正彦 殿
 釧路新聞社社長 片山 睦三 殿
 サッポロビール(株)支店長 森 正二 殿
 福司酒造(株)社長 梁瀬 誠也 殿
 顧問 横地 重幸 殿

元 会 員

梶 正義 殿 小沢 敏男 殿
 佐藤 六郎 殿 川田 春旭 殿
 伊藤 史顕 殿 藤野 博文 殿

●感謝状並びに表彰者名●

感 謝 状

前会長 第15代 寺前 利彦
 第16代 小林 善雄
 第17代 泰地 秀信
 特別会員 儀俄 政夫 瀬村 哲雄
 室本 義信 綿貫 利次
 小林 久雄 武藤周治郎

表 彰 状

30年在籍会員 小林 久雄 最上 勇 松田 忠
 20年在籍会員 石井 亮一 市橋 清捷 泰地 秀信
 15年在籍会員 推井 貞晴



▲伊東良孝会長



▲釧路新聞に掲載された特集記事。



▲記念講演は、高嶋正彦氏



▲六花亭さん特注の記念のケーキ

特集 創立35周年記念例会



「鉦路あすなろクラブ」が、発足35周年を迎え記念式典の開催を考えた時、バブル崩壊後の未曾有の不景気の時代、原点を見つめ、情報交換を活発にし、経済研修団体としての当クラブの存続意味を考慮し、記念式典を廃し40周年に向けて体力を温存する事を第一義として記念例会という形で、祝う事に決定致しました。

35周年記念例会は、記念写真の撮影、開会の辞、信条朗読、稲場会長の挨拶と続き歴代会長4名の表彰が行なわれました。

引き続き行なわれた懇親会には、元会員を初め多数の出席を頂き、会員相互の交流と親睦を深めて頂きました。

尚 本例会において新入会員2名が承認されました。

鉦路あすなろクラブ創立35周年記念例会

日時 平成9年3月23日

午後6：00開会（午後5：00より受付）

場所 鉦路バシフィックホテル新館

式次第

1. 開会の辞
2. 信条朗読
3. 会長挨拶
4. 歴代会長表彰

第18代会長	伊東 良孝
第19代会長	本間 鉄夫
第20代会長	宮澤 昌典
第21代会長	市橋 清捷

5. 新入会員紹介
6. 祝 宴
7. 閉会の辞



▲稲場会長



▲最上勇元会長より挨拶

思い出を語る (元会員)



今 田 英 三 (S37入会)

あすなろの木が樹齢40年、緑を稔らせて大きな幹になり、逞しく育ちました。

私の小さな居部屋の壁に今でもクラブの信条額と私が退会の折り、皆さんが催して頂いた送別会時の記念写真の額が一緒に並んで掲げられており、朝夕、昔を偲びつつ懐かしく、諸氏の活躍を陰乍ら、見守っている一人でございます。改めて記念すべき創立40周年を迎えましたことを衷心よりお慶び申し上げます。

クラブ創設期より、係わっていたということで記念誌に寄稿のご指名を戴き、その光栄に心からの感謝を申し上げ、価値ある40年の歴史の重みを思い起し更なる感懐に浸っております。会員諸氏のたゆまぬ努力と強固な団結により、多くの苦難を乗り越えての継続に、唯々大きな拍手を贈りたいと思います。

時あたかも世界同時テロと不況に見舞われ、私達の郷土、釧路も長期化するバブルの後遺症と、デフレスパイラルによる流通の変革、基幹産業の情勢変化等、長いトンネルから抜けきれない暗澹たる現状が続いております。特に経済の波を、真ともに受ける中小企業者の多い本クラブの諸氏に今こそ、この苦しさを跳返す工夫と実行が望まれる時代に入って来ました。時代の変遷を見極め、クラブの本領である研鑽を積み、相互の貴重な意見交換を重ね行動による新しい活路を見出し発展して頂きたい、この時こそ、あすなろクラブの活躍を期待する時代に入っているのではないかと想います。私の人生の中で、誇りに感ずることはあすなろクラブの会員として多くの共感を覚える友を得たことです。

私の崇拜する作家吉川英治の、好きな遺訓に「我以外皆我師」というのがあります。あすなろクラブの信条の「人の和」こそ、会の根本と思います。自分自身に無い長所を持つ仲間、意見を共有出来る友、蟠りなく本音を語れる同志、親身になってくれる友、年齢の差があっても自分以外は人生の達人であり人生の良き指導者であり師です。あすなろクラブこそ、得難い多くの師の集団ではないでしょうか。

あすなろの木は、500年600年と神秘的な生命力を持つ、すぐれた耐朽木だそうです。40年であれば、正しく成長期の真只中で青年期と想います。更なる年輪を重ね、地味であれ着実に大地に向けて根を張って、枝を広げ緑の葉を天空に張り未来にむけて突き進んで戴きたい。あすなろクラブの将来の益々の発展を祈念し、喜びの創立40年を共に祝っております。



あすなろクラブ創立40周年記念を祝して

小林善雄（S50入会）

あすなろクラブの皆さん、創立40周年を迎えまして本当におめでとうございます。衷心よりお慶び申し上げます。

ついこの間、30周年記念行事を行い、私は実行委員会の事務局長としてあちこち奔走しましたが、あれからもう10年たったのですネ！月日の流れの早いのに驚くとともに会の一段との成長に敬意を表するものでございます。

私の入会したのは昭和50年です。親父が亡くなって家業を引き継ぎ、技術屋の私が全く別世界の業界に入り途方に暮れておりましたところ、敷島商会の瀬村会員から「あすなろ」への入会を勧められ会員となりました。当時は会も発足してから13年も経過しており会の内容も充実しており、そんな中で勉強させていただいたのですから私は本当に幸せ者でした。

クラブの良いところはそれぞれ異業種で忌憚のない気持ちで腹を割って話し合える。このお陰で本当に良い友達もでき、わが家の業績も上げることができました。

又企業研修団体と言うかたちから、個人としてはなかなか習得できない勉強も出来たと言うことは、誠に貴重なことでした。

例会における名士の方々のご講話、そして又各所に出向いての研修では私の脳裏からいまだ離れがたいものとして、太平洋炭鉱坑内見学（機械化されたとは言え海底炭発掘の大変なことを知った）、日本銀行釧路支店で島村支店長の講演と行内見学（政府機関銀行の仕組みと内部を見聞した）、帯広の六花亭では小田豊四郎社長の六花亭が今日に至るまでの講演と工場見学（特に社長さんを見せての十勝川温泉での懇親会は忌憚のない話し合いとなり、有意義な勉強会であった）。

又泊原子力発電所の見学はいろいろな施設を見て廻って、原子力発電の認識を深めるとともに安全度も確認した。等々であります。現況の太平洋炭鉱問題、北電の原子力発電問題、日本経済と金融機関問題などなど、当時とはかなり状況が違っておりますがいろいろと判断出来るのもあすなろクラブでの勉強のお陰と感謝しております。

更に楽しい思い出としては家族ぐるみでの野外レク、又毎年12月に行われる家族クリスマスパーティです。これは日頃世話をかけている家族へのサービスで、会員がいろいろと思考を凝らして楽しんでいただきました。

奥様は準会員と言う仕組みもあすなろクラブの特徴で、外にないのではないのでしょうか。

現代は私たちが入会していたころとは世の中の変遷も著しく、中小企業でもIT化する時代ですので勉強の範囲も広くかなりの高度のものも要求されることと思われまふ。従ってクラブの在り方もいろいろ変わって参りましょうが、「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和す」と言う信条は変わらなぬと思います。どうぞ健康には留意して企業発展のため大いに頑張ってください。

今後の益々のご発展を祈念申し上げます。



クラブ在籍中の思い出

田 中 幸 一 (S46入会)

昭和46年入会の私は、当時の工業部会に所属しながら、例会や部会に、又、各種行事に、他部会員との会話を楽しみに、期待感をもって、出席していた事を、懐かしく思い出されます。厳島神社大祭には、供奉班として、十数年参加し、我が郷土のその年々の変遷を肌で感じながら、足を棒にしながら、行列に参加した事が、懐かしく思い出します。

家族クリスマス会では、各部持廻り制で数少ない予算で、いかに楽しい会に出来るかと、知恵を絞りながら、手造りの会をモットーに、参加した家族会員のサービスに、駆け廻った夜が懐かしく思います。その他、あすなろ花壇作りや管外研修で自家用車を走らせた事。夏の家族レクリエーション等。どれをとっても掛替の無い思い出で一ぱいです。

常にクラブ信条の元、研修課題を手探りしながら、あすなろ精神で研鑽を重ねられる諸兄のご健勝とクラブの益々の発展を祈念申し上げます。



四十周年を祝す

多 賀 輝 夫 (S44入会)

設立40周年にあたり心よりご祝福を申し上げます。

あすなろクラブへの入会を認められたのは、宮田消火器(株)釧路支店に勤務して当時の社長佐々木政勝会員の代理として会議等に出席させて頂いたのが懐しく思い出されます。毎回の会議では先輩会員の温い思遣りと新会員に対する厳しいマナーの指導又経営者としての自覚に目覚め社会に奉仕出来る会員に育つ事を願いつつの学びに緊張のあまり汗をかいた事が懐しく思い出されます。

例会の席では大変厳しかったが、年に何回かの家族慰安会とレクリエーションは他の会ではあじわう事の出来ない楽しい会でしたね。なかでも一番記憶にのこっている学習会は北斗において馬の種付け見学会でしたね。

私は境港市の生れで漁業が盛んで農業関係とは縁がなく馬の種付けは初めての経験でしたので強烈な光景に同時期入会された森下会員とかたづをのんで見学した事が思い出されます。

会員で写真集や8ミリテープを写した方がいて家族に隠れて見た事も懐しい思い出です。後に小さな会社の経営者になり事業を展開して居りますが、現在の様な不況の時に生き残りを計るため苦勞の連続ですが、あすなろクラブで先輩諸氏から学んで勉強した事が役立って居ります。会社設立以来30年間無難に過せた事に感謝しクラブの信条通りの生きかたを今後も守って行きます。生涯学習の道場としてのクラブの存続を願いとしてむすびます。



あすなろの思い出

佐藤 和安 (S54入会)

入会したのは29歳、年齢構成がとても幅広いクラブでしたが「君も家族だよ」という空気があり、若輩で礼儀知らずの自分を暖かく受け入れてくれました。

懐の深い先輩諸氏があすなろ独特の雰囲気を作り上げており、年齢・役職職業を越え、誰にでも自由に活潑な意見交換や活動の場を与えてくれました。

この経験は今の自分に大切な財産となっています。

仕事上、例会になかなか出席できず退会致しましたが、これからも他の団体には無いあすなろの特色を活かし、会員皆様のご発展をお祈り致します。



釧路あすなろクラブの40周年によせて

中村 正嗣 (H3入会)

40周年と聞き、30周年記念誌を書庫から引き出しページを繰ると、青木準司さん、稲場文男さん、国光勝広さん、小林久雄さん、本間鉄夫さん、そのほかにも釧路を去られた方、残念ながら亡くなられた方など、なつかしい顔に会えました。と同時に10年の年月の流れの速さを、改めて感じさせられました。私もJICをはじめ色々な団体に所属しましたが、あすなろクラブは人数的に仲間意識を維持するのに、ちょうど良い数で楽しく活動させていただきました。市議会議員となって、ますます忙しくなり、当社の総支配人、近藤義男君と交替しましたが、加賀さん達と釧路の道路標識が外来者にとって、とても分かりにくいことを指摘し、マスコミに大きく取り上げられたこと、市橋会長、石田博司事務局長のもと、大谷さんと一緒に事務局次長をつとめ友情が芽生えたこと、理事会や部会で寿庵のそば定職を食べながら侃々諤々の議論を交わしたこと、全て貴重な思い出です。これからも「信条」にあるように郷土を愛し、仕事に徹し、みんなで仲良く頑張ってください。

座談会

「翔け!! 郷土の聖壇へ」

○とき

平成13年12月20日

○ところ

釧路パシフィックホテル

出席者 市橋清捷 (S47入会)

畑稔 (S56入会)

安藤栄治 (S58入会)

中尾嘉男 (S58入会)

本間英俊 (S59入会)

松本重政 (S43入会)

佐藤誠一 (H3入会)

柵木隆雄 (H9入会)

司会 木内慎太郎 (S53入会)



木内：本日は、40周年記念誌の座談会に、ご出席を頂き有難うございます。昭和37年2月に、異業種交流団体として19名の方々が参加されてより、平成14年で

40周年という節目を迎えるになりました。

この度、記念事業の一環として発行される記念誌に、座談会を企画致しました。本日出席の会員の皆様には、活発なご意見、感想をお聞かせ下さい。

あすなる花壇について

あすなるクラブでは以前に、「あすなる花壇」というものを設け、会の年間行事として又、会員同士が花壇を通じて親睦を深めておりました。

本間：花壇は、図書館前にあったのですが、残

念ながら都市計画で花壇が取り壊しにあったんですね。

木内：出席率は、良かったですか。



本間：あんまり良くなかったネ(笑)。だいたい来る人も決まっていたしね。特に新入会員は花壇委員に入り、日曜日の朝5時か6時に、集合して2時間位、草

取りから、苗を植えたり、結構ハードな作業をやっていましたヨ。

松本：花壇が始まる様になったのは、釧路市が「緑いっぱい市民運動」チューリップ事業を展開する事になり、元会員の藪さんから声がかかり、何回も市役所に足を運んでスタートしたのが初りです。最初は、イイ場所じゃなかったけど、一番楽しかったのは、終わってから鶴ヶ岱公園でジンギス汗を食べる事さ(一同笑)。

木内：それでは、いつもジンギス汗を目的に行っていたという畑さんは??。

畑：だいたい日曜日の朝だったと思います、日曜日の朝は、テレビで政治的な番組があり、なんとしても見逃しできないくらい好きだったので、花壇整備には、あまり出ていないが、図書館の花壇には、2・3回行ったかなーと記憶しています。ジンギス汗は、大好きです!! (笑)

市橋：花壇で、一つだけ記憶にあるのは、何時頃かは忘れましたが、「翌松の樹」を青森方面の方からゆずり受け植樹したのが、うまく育たず、最終的には枯れてしまいました。その事だけは、残念に思っています。

「翌松の樹」が、今の40周年に育っておれば、我々の会よりも堂々とした松となり、私共を見守ってくれたと思いますヨ。

20周年記念誌の座談会の感想

木内：20周年記念誌の中に、「新入会員と語る」という題で56年に座談会が企画されまして、その時に8名の方が出席なされました。このメンバーで現在会員として在籍しているのは伊東会員1名だけなんです。この20年間に在籍していた会員もわずか8名しか残っていない。時代の流れを感じますが、この座談会の記念誌委員として市橋さんが出席なされているんですが、座談会の中の雰囲気も記憶していると思いますので、市橋さんの方からもお聞きしたいと思います。



市橋：その時の雰囲気はもう良く憶えておりませんが、今回改めて20年誌を読んでみましたら、はっきり言って、現在の「あすなろクラブ」が抱えている問題がそ

っくり20年前の記念誌に書かれており、驚きと共に、我クラブが20年間成長していないかと、一寸寂しい気が致しました。先輩が居る事は良いのですが、あまり年齢が高くなった人は会を

やめた方が、いいんじゃないかという事も書かされておりました。それが「特別会員制度」になり、その後廃止という事になったりと、その時々いろいろな問題が発生し、解決されてきたように考えられます。現実問題、現段階で持っているクラブの問題が、既に20年前に部会の数とか、いろいろな事が書いてあり、改めて読んだ時に、やはり一つのクラブというのは、何年たっても同じ問題を抱えて成長していくのかなってという考えを持っております。

木内：皆さんも改めて読んで頂き、今後のクラブの在り方の参考にして下さい。

クラブの危機的状態はあったのか？

木内：クラブも40年という長い足跡を残してきた中で、その時々、会長、会員の方々がいろいろ努力をされて今日まで来たと思うのですけれども、その中でもクラブもこのままじゃ解散になるのかなあとか、この人が会長やってたらつぶれてたんじゃないかなというような危機的な状態に陥った時はなかったですか。



市橋：別に危機的状態ではなかったが、私が会長をしたとき特別会員制度問題がありましたからね。それで特別会員は先輩ですよね。全員退会してもらったという経緯があるんですけれども。ただ私が入った時に、なぜこのクラブがいいのかなということを考えた時に、やっぱりまだ30歳ちょっとぐらいで入ってますからその時既に、50歳60歳の先輩と対等にお話をさせてもらえた。これはものすごい後になって勉強になった。当然年をとってくると、若い人と話をするのも勉強になる。ですから私が会長の時に、

特別会員問題がおきて、特別会員の方々を退会させてしまったのですが、これがはっきり言って、今まで私が入会して30年経つわけですけれども、たった一つの心残りでしたね。

畑：私の思う所では、特別会員の大半の方はチャーターメンバーの方々で、やはり初代の経営者の考えで、クラブ内で自分達の意見が後退するのに多大な抵抗があったと思います。自分達の意見が通らないクラブの運営に歯がゆさと、悔しさが交錯したと思います。そして自分達の引き際も模索していた様に思います。私も、その時期を見定めなければと思って居ます。

「管外研修」について

木内：今も続いております、会の年間行事の管外研修は以前には、各地方都市を廻ったり大変勉強になった様にお聞きしていますが、参加され、記憶に新しい事がありましたら。

安藤：帯広市の六花亭を訪問し、社長さんの講演と、次の日の工場見学が非常に面白く、印象深かったです。

普段は、やはり工場内には、なかなか入れないですよ。それで、どういう状態でお菓子が作られているのか、我々は手作り菓子を想像していたのが、六花亭さんの工場は、近代化され食品ごとに分れていて、すごい機械が入っているのを見て、釧路のお菓子屋さんと大分違うなと大変びっくりした思い出がありました。



佐藤：私が、出席する様になったのは最近ですが、入会の頃は、文字通り、管外研修って感じてましたね。手前味噌ですが、安藤会長の時、別海町を見学し、色々

な施設の見学や講話が有り、さらに体験（バター造り）もしながらの管外研修を実施出来た事は、企画し実行に移す迄は大変でしたが、皆さんに喜んで頂いて、良かったなあと思っておりますね。

最近は、一泊研修・懇親会研修と言ったテーマの例会に、定着しつつ有る様に思うが、それはそれで、時の執行部の考えで良いと思います。

木内：管外研修は、裸の付き合いで、本音を語れると言う意見もありますが。

畑：確かに飲む機会は、釧路市内でも幾らでもあるが、会員以外の方が居ると、そうそう大騒ぎはできないし他の人に、聞かれない話はできないし、又、喧々轟々な議論もできないと思う。その点、管外研修は、一泊で皆同じドテラを着て、お互いの裸を見ながら風呂（温泉）に入り、アルコールを飲みながら色々な話をする事で、本音での話し合いが、出来る事が私は一番好きです。今日中に帰らないと言うのも楽に酔えるしね（笑）。

以前の研修では、釧路市の経済部長だった角田さんに、何回か連続して講師として、一緒に風呂に入り釧路の進方針を聞かせて頂いた。釧路の石炭で、熱供給公社を作るとか、シメジを作るとか新しい産業の前向きの話では、発想のすばらしさに、勉強になり自分自身も何か現状を打破する工夫を考えなければと思った。

松本：あの人いいよね。本当、仲間って感じるだもん。

本間：会員同士が、気楽くに、酒を汲み替わし、風呂に入るのも、その時の執行部によって研修旅行が、親ほく旅行になっている様な気がしますが、会員の仲間と一泊し、飲み会を一緒にすると友と思う気がより深くなって行く様な気がします。年に一回の楽しい例会だと思えますネ。

あすなるクラブ5・10年後の提言

木内：40周年の記念すべき節目に当り、明日のあすなるクラブへの助言、提言を聞かせて頂き度と思います。

中尾：うーん、大変難しい問い掛けですネ。クラブは、会長は選考委員で選ばれますが、その時々で会長判断で、自由、活発な発想で、クラブ運営をやって行く事が、本会の活性化に繋がっていくんじゃないかと思っております。



松本：経済情勢にあった、会の運営ってというのが、あってもいいと思う。寺前さんが会長の時、オイルショックで景気が悪い中、会員の声を聞き会費の値下げ

を断行した時があった。そういう事を敏感に行う事が、あすなるの一番いいところじゃないかなあ。経済情勢に似合った運営の仕方というのがある訳だから、それはやっぱり学んで行くのも大事だ。

又、会員同士も意見交換で、喧嘩腰の発言があっても、終わったら「よし飲みに行くぞ」って、皆んで行っちゃってねえ、本当の仲間なんだよね。その中でいろいろ話上手、聞き上手にもなるし、みんなが参加出来るっていう時代もあったよ。

市橋：あすなるクラブが40年続いたという事は、そこになにか一本の芯があったのかどうか。逆に言うと、その時の執行部が何かの目的をもってやって来たから続いて来たのかなと考えております。だから5年後、10年後、20年後といった時に何かその一本の芯を通して、ここからはずれるなという続かないんじゃないか。やはり、その時の執行部が時代に添ったテーマを持って進めていけば、そして会員が何を望んでいるかを把握して、今回は勉強にしよう、今回はちょっとハメを外して遊ぼうとか、それでもいいと思うんですよ。それで、過去においていろいろやってきたクリスマスパーティもやめたとかいろいろんな事がある訳ですよ。ですからそれは、この時代に即応したやり方だったと思うんです。決して誰も後退する改革をする人は、おりませんから。前向きにやろうという事が、その改革になって来たんだろうから。これからもどんどん過去の良さは取り入れ、不要な物は切り捨てる。そして進んでいけばまだまだ発展するような気がする。それにはやはり、若手の会員、入会5年未満の人たちがもっともっと会

の事をよく知って貰い、過去の記録を読んで、こういう事なんだ“あすなるクラブ”はと、わかって尚且つ、それに現在風の肉付けをしてやって頂ければなと思います。今だんだん私も先輩になったのでそういわざるをえないんですけどね。若手の会員の奮起を望みたいです。



安藤：ある時期部会ごとにテーマを持ってやったでしょ。確かに何年間は大変だったという記憶が残ってる。ただそれをやる事によって、それをやった人間同士と運営した時の人間同士のつき合いが深まったという記憶があるんですよ。どうしてもいろいろ苦労してやったというので、一緒に苦労した皆さんの本当の人間性がわかったっていうことで、貴重でした。本当に飲み会的なものも必要だけど、お互い目的もってやるとか、コントロールしながらやることによってお互いに会員同士がわかって、そしてまた会自体が統一してくんじゃないかなあ。やっぱり飲み会だけだと駄目だし、研修ばかりでも駄目だし、やっぱりバランスが難しいんじゃないか。それもまたうまくやっていけば、クラブも発展するし、残っていけるんじゃないかなという事を思うんですけどね。

柵木：まだクラブに入会して年も浅いのですが、私は、入会した時にいただいた30周年記念誌を改めて目を通してみると、諸先輩の遺した数々の功績、地域に根ざした活動、それに伴う御苦労は脱帽するばかりで、未熟な自分の甘さを再認識した思いで読んでいました。我々は、あすなるの歴史を知ることによって、一員であることに誇りに思い、



の事をよく知って貰い、過去の記録を読んで、こういう事なんだ“あすなるクラブ”はと、わかって尚且つ、それに現在風の肉付けをしてやって頂ければなと思います。今だんだん私も先輩になったのでそういわざるをえないんですけどね。若手の会員の奮起を望みたいです。

良いことは継承して、時代の変化によって、弊害となるものは、話し合いながらより良いものに塗り替えていき、この40年を節目に我々入会の浅い会員は、諸先輩から学びながら、活発な意見交換をして、これからのあすなろを発展させていくうえで積極的に取り組んでいきたいと思えます。

本間：新入会員の方が、クラブの歴史の、記念誌等を読んで貰って、勉強して頂くのは大変いい事ではないかと思えます、あすなろの為にも大事なことではないかと思うし。だからこそ人と知り合い学習してほしいです。又、我々も一緒に学習しなければ、クラブも、40周年以降も、若い世代の方と伸びる事は、不可能と思えます。

佐藤：今までの方々と同じ様な意見ですが、総会・ビール例会の様に、最低80%位いの参加者がほしいですね。通常の例会は欠席者が多いし、顔ぶれが決まっている感じです。出席率の向上が、問題の一つとして、新入会員を誘う際、本場の事を話して欲しいものです。それは、以前に聞いた事が有るのですが、一例として、「入会したが、全然お菓子を購入してくれない」・「全然自動車の修理依頼が無い」、話しが違うので退会したと言う話しも耳にしています。

以前にも、行ったと聞く、新入会員の教育(クラブの歴史等々)の場の再開を検討してみたいかがなものでしょうか。当・あすなろクラブを、良く理解していただいた上、長く在籍していただき、当・あすなろクラブの発展に貢献していただく事が、例会等の出席率の向上にもつながる事と思えます。



畑：20・30周年記念の当時とは、経済情勢が180度の変化があるし、以前は、少なくとも右肩上がりの経済で少しの不安はあったよね、当時の言葉で、「赤信号皆で渡れば怖くない」が心の奥にあったもので

す。だから今思えば一時的にせよ会費の値上げの時期も見られたものですし、会費は誰もが安いに越した事は無いのが事実ですね。ですがね、反面に受益者負担が多くなり私は特に反発し、会員皆さんから大いに反感をかった記憶もあるヨ。それまで会の行事で一番の予算の家族クリスマス例会を改革した事で予算的にも少しは余裕のある執行部が可能になったと思えます。これから先も時代に応じた運営(改革)が必要と思われれます。

座談会を通して感じた事 我クラブの友へ

榎木：私はあすなろに入会した目的はより多くの人と知り合い、諸先輩から学ぶことが主な目的でした。入会以来しばらくの間、あすなろの活動を理解するまで時間がかかりました。当初は出席率も悪く、なかなか皆さんと話ができなかったのですが、部会に配属され一部のひと、それでも話が出来たのが幸いでした。

でも部会以外のひととはなかなかきっかけが無く、廻りがうらやましかったですね。私自身、入会してから一度も部会編成していないので、特に思うのかもしれないけど、あすなろ全体を考えると定期的な編成は、会の活性化につながると思えます。それが無理であれば、例えば一つの案として、各部会の中から5年以内の会員の参加を募り、親睦をはかりながらあすなろの歴史を学び、先輩方の協力も得ながらオブザーバーとして迎え、あすなろについて話していただく様な、催しを企画されてはどうでしょうか?。理解も深まり、積極的な参加、前向きな意見もどんどん出してもらうことによって、こ



の素晴らしい会に自分が所属している、誇りに思える、という意識が働くのではないかと思います。そして、そう思っている人達がやがて将来のあすなるを力強く継承していくのではないかと思います。

佐藤：よろしいでしょうか、自分の経験から言いますと、まず自分が当クラブに入会させていただきました切っかけは、今は故人となりましたが、チャーターメンバーの一人でありました最上さんで、「会の事業内容や、色々な人との出会い、色々な人の話しを聞く事に意義があると言う事、又、話しの中で、例会も大事だけどやはり部会、部会には出来る限り（100%）出席下さい」と言う言葉でした。

配属された部会に、さらにチャーターメンバーの一人であります今田さんがおられた事が、会の歴史等諸々の話しを聞く機会に恵まれ、割りとスナリと会に馴染んでいった事が、今日まで在籍させて頂いております要因の一つかと思っております。

それでも部会には割りと出席しましたが、例会の出席率が良くなったのは私も最近の事です。定例会では、先程、柵木会員が言った様に部会の人以外、知らない人が多いものですから、必然的に目で追うんですよ、同じ部会の人はいないか、そして、必ずと言っていい程、同じ部会の人隣の席に座ったものです。

そう言った意味で、私は、現時点での各・部会運営はうまくいっていると思います。しかし、時の執行部の苦勞も有るでしょうが、数年間隔で、若干の部会編成も必要かと思うところでもあります。

松本：いろんな事で悩んでるうちがやっぱりいいよ。悩み無くなったらだめだよ。集中できなくなっちゃう。ただね、思いやりが大事なんだよ。現執行部に対してのね、執行部が一番気にするのは出席率なんですよ。「自分等がやる事おかしいのかな？だから来てくれないのかな」って、それを思ったらやっぱり出てって協力する事が大事じゃないかな。やっぱり思いますよ、マーなんとしてもいかんとなんない。そして欠席する時必ず電話入れるもんね。「イヤ

ー今日はこういう事で欠席します」とそれがやっぱりね、本会に永く居れることの秘訣じゃないですか。「あいつならない方がいいぞ」って言われたらねえ、永く居られないものネ。



中尾：やっぱりね、会長になると解ると思うんですけど、会長って大変なんですよ。時代背景だとかね。会の状況見ながら、ベストな状態で会の運営しようと思

いますのでね。それを十分に発揮できるのがこのあすなるクラブの特徴でもあるし、会員の皆さんも、その時々身になって、自分からも勉強の姿勢を持って、あすなるクラブに参画して頂き度と切に思います。

木内：長い時間に亘り、貴重な意見を賜り、ありがとうございます。ご意見・ご提言は、しっかりと記載させていただきます。

ご協力、誠に有難うご座居ます。（終）

「あすなるクラブ 創立時をふりかえり」

今田英三（本会のチャーターメンバーで創立時より会の発展に
尽力、平成9年に退会する迄、会の精神・基本理念
又、会員の育成に貢献されました。）

（※この書は、今田会員が、昭和54年にあすなるクラブ創立の理念の書として執筆されました。）
人ほど味わいのあるものはない。

神がなせる藝術品であり。どの様に組合せても決して同じ人間を造り出していない。似ている兄弟 双生児であっても育っていくと必ずどこか相違点が出来て決して同じものがない。体格、容貌においてもこの通りなのだから、性格、考え方、精神は尚更のことである。そこが又人間の人間らしい特徴であり、神がこの世に送り下された創造型の最高藝術品であるのだろう。だが神が進歩あるこの動物に粹をかたむけながら、多くの欠点をも与えた。怠惰で楽天的で驕慢さをも兼ね持ったものを造形した。だがそれ以上に多くの美点、長所をも人間に植付けた。それは自からが、考え出す意志と行動、それはそして自らが切り拓く事の出来る知識と調和を神は与えた。

あすなるクラブの発足はそのような、自分自身に不足したものを多くの友、同志から求め、あくなき知識欲と、友とのふれ合いによって切磋琢磨して己を磨き志を一つにした同志の集いである。我々のクラブの信条はそのようにして作られた「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和す。」にいったいものを盛り込まれている。

クラブが誕生したのは昭和37年2月とされている。だがその土壌はそれより以前、何年も前から芽生えている。いつとは知れずお互の知人友人が職種が違えども出張のとき得意先で何かと会合で、いつ知れず、自然発生的に集り会を持とうではないかと相談されて来た。そのような母親の胎内のぬくもりの期間がそうとう永かったはずである。そして昭和37年2月に第1回の発会式を迎える事が出来た訳だ。

中國の水滸伝を例題にしては不遜になるが、英雄、豪傑が一つの目的の為、梁山泊に集った如くあすなるクラブの場を借り相互の意見を出し合い、それを経営に自己の研修に活かして行くために会が発足した。水湖伝の如く国乱れて英雄が出たように。その当時の我が国と釧路の状況を説明し、どうして会が創設されたかを探ぐらねばならない。

岩戸景気と呼ばれた昭和35年頃は、新しい日本の幕明けといわなければならない。岸内閣から池田勇人内閣にバトンタッチされ、いよいよ所得倍増、月給二倍論という新語流行し、日本も工業立国として大きく飛躍しつつあった。だが地方に住む我々中小企業には夢のまた夢、安保条約から端を発した労働争議でデモに明暮れうなぎ昇りの賃金高。大企業に若年層をうばわれ人手不足となり、経済成長の影に暗い日々を送る毎日であった。その様に日本の成長は急カーブに上昇しつづけてはいたがその当時の10年間を見ても、昭和31年、32年、昭和35年、36年、そして昭和37年、38年、39年までの不況、つまり三つの谷間を経過している。その時私達はいかに企業を守り切るか、従業員対策はどうすべきか打続く不安定経営をいかにして存続するかと日夜頭を悩ました時代だった。昭和

39年には企業倒産はそれまでの最高記録を更新し、大企業の日本特殊鋼の大型倒産を初めとし釧根地方にも倒産旋風が吹き荒れた。その様な時に私達のような泡沫業者は激流に漂う一片の木の葉の如く、諸問題をかかえ、その対策にいかんすべきか苦慮していた。この様な時代背景の中で、各々釧路に所在する商工業中堅経営者によって「あすなろクラブ」が結成されたのである。真剣に経営をどうすべきか、どうしたら此の難局に対処して行けるか、多くの同志の忌憚ない意見をきき、己の経営の一助とすべく集ったのがはじまりである。

目的は会員の親睦と会員相互の研修を主体としてこの会は生まれた。そしてあすなろの木のように末は椈に成長しようと心で誓い「あすなろクラブ」と命名された。爾來今日まで先輩の努力と会員の愛会精神によって今日の発展を見た。

創立5周年記念行事の祝賀会にある有名ご招待客が祝辞の中で「この様な会はあまりにも理想と現実がかけはなれているので、作られても2、3年位で解散してしまうのが通例とされているが、あすなろクラブはそれを超越してこの様な発展成長している事に絶大な賛辞を贈る」と挨拶された。そしてその5年どころか10年、15年、20年の今日まで「あすなろクラブ」は続けられている。そして発展しつつある。

音楽に無器用な私でもテレビの普及によって、良く交響楽を聞く事が出来るようになった。子供の頃交響楽の指揮者のタクトを振る様を見て唯たんに部隊のアクセサリ的人物としか見ていなかった。だが指揮者の一挙一動が美しい音楽のすべてを決する事を知り驚嘆した。私も指揮者の如く、一つのタクト（頭脳の指揮）で多くの楽士（社員）を自在に美しい曲（仕事）を奏なでて見たいと、テレビを見ながら考える。あすなろの同志の諸君も楽士である。バイオリン型の人物もあれば、チェロ的な人もいる、トランペット型もあればドラム面を持った仲間もいる。そしてフルートの様に繊細な人物もいる。そしてそれぞれの楽器は単独であっても立派に独演も出来、そして集団となれば、これまた人々に感動と肝銘を呼ぶ交響楽となる。そしてピアノひきは、バイオリンによって音が冴え、ベースによってひきしまる。さしずめ指揮者は会長以下役員一同である。「あすなろクラブ」の目的にまだまだ未完成であれ、我々の努力と理想によって、美しい音楽（仕事）を残していきたい。

日本も経済的には世界の列強と数えられてはいるものの、私達の前途は今迄以上に厳しいものがある。

会発足当時をふりかえり、クラブの足跡を見ながら明日の理想の為に進んで行こうではないか。あすなろクラブ同志の健康と隆昌を祈りこの文を贈る。

釧路あすなろクラブ会員名簿

平成14年1月現在

氏名	会社名	職席	業種	住所	電話	自宅住所	自宅電話
安藤 栄治	安藤印鋪(株)	常務取締役	印章事務用品	釧路市星が浦北1-1-5	52-0510	釧路市千歳町8-15	42-4476
飯田 正幸	東部通信商会(株)	代表取締役	通信機器	釧路市愛国東2-10-2	36-2211	釧路市双葉町15-1305	23-3633
五十嵐 孝治	(有)コーケン道東	代表取締役	農機ビルメンテ	釧路市双葉町11-2	22-3817	釧路市中島町12-28	22-5100
石田 博司	(株)笛園	代表取締役	飲食業	釧路市末広町3-5	23-6101	釧路市緑ヶ岡1-21-7	41-8790
市橋 清捷	三洋電気船具(株)	代表取締役	船具漁具販売	釧路市浜町1-4	23-2241	釧路市住吉2-7-2	42-4060
伊東 良孝	北海道議会議員	道議会議員	道議会議員	釧路市浪花町13-2-1	25-5500	釧路市美原5-30-1	36-7070
請川 祐康	請川設備工業(株)	専務取締役	ガス設備	釧路市松浦町13-12	25-5005	釧路市愛国西2-2-17	37-6210
大串 希昭	(株)新生広告社釧路支店	支社次長	広告代理店	釧路市錦町4-3	23-3331	白糠町西庶路東1北3	01547-5-2722
太田 茂樹	釧新開発(株)	代表取締役	不動産業	釧路市新橋大通1-2-20	24-1757	釧路市美原1-32-4	36-5259
大谷 真市	(株)丸大大谷	専務取締役	婦人服卸	釧路市黒金町12-9	23-1255	釧路町新開4-48	36-6025
岡田 征男	(株)岡田商事	代表取締役	コンビニストア	釧路市松浦町8-13	22-7509	釧路市松浦町8-13	22-7509
菅野 学	カンノ塗装	社長	塗装業	釧路市美原2-8-10	36-3887	釧路市美原2-8-10	36-3887
木内 慎太郎	木内印刷(有)	専務取締役	印刷業	釧路市大町6-5-16	41-2966	釧路市入舟6-3-8	43-3269
菊池 吉郎	巖島神社	宮司	神社	釧路市米町1-3-18	41-4485	釧路市米町1-3-18	42-9660
草鳥 守之	釧路市議会議員	市議会議員	市議会議員	釧路市星が浦大通4-5-6	52-1123	釧路市桜ヶ岡1-2-9	91-7272
黒田 厚司	(株)クロダ部品	代表取締役	自動車部品販売	釧路市堀川町5-11	23-2278	釧路市鳥取大通4-8-12	51-6329
近藤 義男	釧路パシフィックホテル	支配人	ホテル業	釧路市末広町2-6	24-8811	釧路市貝塚4-1-11	46-5230
斎藤 政行	(有)富士車体興業	代表取締役	板金塗装修理	釧路市入江町11-1	24-6763	釧路市昭南4-34-13	51-5863
坂上 政敏	(有)東研工業	代表取締役	鋼構造物工事	釧路市星が浦南1-4-9	52-4652	釧路市鶴野東4-11-16	51-9106
坂本 裕人	共立電機サービス	代表	電気機械修理	釧路町国誉3-90	36-8536	釧路町若葉4-15	36-7575
佐々木 保幸	日本美装工業(株)	代表取締役	ビル総合管理	釧路市暁町8-24	22-1520	釧路市暁町8-24	22-5906
佐藤 茂良	女来里愛	代表	飲食業	釧路市末広町3クリスタルビル	25-2048	釧路市北大通2-7バルハイム	24-0393
佐藤 惟忠	(有)写真のさとう	代表取締役	写真業	釧路市柳町7-22	25-1488	釧路市柳町7-22	25-1488
佐藤 誠一	釧路建具家具生産(協)	参事	家具建具製造	釧路町桂1-2	37-0252	釧路市北園1-3-4	52-1920
佐藤 忠和	(有)寿庵	専務取締役	日本そば商	釧路市寿1-3-17	22-2679	釧路市寿1-3-17	22-2679
清水 雅則	丸亜工業(株)	代表取締役	断熱工事業	釧路市愛国東3-9-25	37-1129	釧路市中園町24-5	22-6631
杉山 宏司	スギヤマオート(株)	代表取締役	中古車販売	釧路町北都2-15-5	36-3419	釧路市文苑1-55-6	36-3306
須崎 幸蔵	丸中釧路中央青果(株)	常務取締役	青果卸	釧路市新富士6-1-23	51-5111	釧路市星が浦大通1-2-2	51-6911
関 昭次	(有)関建設	代表取締役	一般建設業	釧路市寿3-3-25	32-3978	釧路市寿3-3-25	32-3978
泰地 秀信	中央防災システム(株)	代表取締役	消防設備	釧路市緑ヶ岡1-20-3	42-1611	釧路市緑ヶ岡1-20-19	41-4424
谷口 正四	ナラサキフーズ(株)	常務取締役	水産加工業	釧路市新野24-1072	57-8500	釧路市星が浦北2-3-43	53-4324
中居 好通	日通工(株)釧路支店	支店長代理	通信器メーカ	釧路市入江町3-19	25-7274	白糠町西庶路東1北1-1	01547-5-2626
中尾 嘉男	(有)光興産	専務取締役	京染京呉服	釧路市新富町16-3	23-5613	釧路市大楽毛西1-28-4	57-8513
中川 亮	大同生命保険相互会社釧路支店	課長	生命保険	釧路市末広町10-1-6	23-6405	釧路市若竹町9-133	31-8139
中島 康秀	(有)サンクリーニング	専務取締役	クリーニング	釧路市共栄大通5-1	22-2502	釧路市暁町1-10	23-6756
野口 仁	(株)山仁野口商会	代表取締役	燃料・不動産	釧路市川上町5-1	24-1152	釧路市緑ヶ岡6-12-12	46-2664
畑 稔	畑電機(株)	代表取締役	電機一般	釧路市喜多町2-7	22-7746	釧路市喜多町9-7	24-6162
坂東 勉	(有)バン・コーポレーション	代表取締役	ユニホーム販売	釧路市若竹町19-8	24-3663	釧路市豊川町11-15	24-1264
平野 幹雄	(有)ユ一	代表取締役	衣料品販売	釧路市鶴ヶ岱1-7-7	44-2500	釧路市武佐4-2-1	46-2633

氏名	会社名	職席	業種	住所	電話	自宅住所	自宅電話
福田紀幸	(株)釧路第一経営センター	次長	税理士事務所	釧路市浦見 4-2-3	42-8888	釧路市文苑 4-46-17	37-8748
本間英俊	(有)道東イサム塗料	代表取締役	塗料販売	釧路市新栄町 3-11	22-3252	釧路市愛国東 2-6-2	36-7008
柵木隆雄	(有)インハウス マセキ	代表取締役	室内装飾工事	釧路市昭和 3-15-15	51-7897	釧路市昭和 3-15-15	53-1658
宮崎博好	(株)近藤設備工業	工事部長	管工事業	釧路市錦町 4-6-2	22-0369	釧路市貝塚 2-17-30	41-9658
宮澤昌典	宮澤保険事務所	所長	保険代理業	釧路市住吉 1-10-9	42-0150	釧路市住吉 1-10-9	42-0150
三輪昌博	日の出工芸(株)	常務取締役	広告美術業	釧路市鳥取南 8-14-8	51-1616	釧路市鳥取大通 4-8-2	53-3115
森山敬文	(有)森山商店	代表取締役	古物商	釧路市入舟 5-2-9	41-3571	釧路市入舟 5-2-9	41-3571
山口秀昭	和商(株)釧路営業所	所長	保安交通信号	釧路市晩町2-4	23-6441	釧路市文苑 4-39-24	38-9055
山口良治	味のやまんば	代表	飲食業	釧路市栄町3-2	22-2631	釧路市白樺台 4-10-5	92-2050
遊佐紀男	北海道エアウータ(株) 道東支店	支店長	高圧ガス	釧路市寿4-3-10	23-9147	釧路市鳥取大通 6-2-21	53-6870
吉多幸男	(有)釧路ラジエータ工業	代表取締役	ラジエーター	釧路市住之江町 6-27	24-3615	釧路市住之江町 6-29	25-5216
渡辺教浩	(株)丸幸渡辺建設	副社長	一般建設業	釧路市中園町 22-12	23-2575	釧路市中園町 22-12	22-0321

(五十音順)

釧路あすなるクラブ会則

(名 称)

第1条 本会は釧路あすなるクラブと称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は事務局長の勤務先に置く。

(目 的)

第3条 本会は経済研修を旨とし、会員間の意見・情報交換、ならびに郷土の知識を深め、社会への貢献と会員相互の交流親睦を図ることを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は前条の目的達成の為に毎月例会を開催し、時に応じて必要な事業を行うものとする。

(入 会)

第5条 本会への入会者は現会員の推薦を要し、役員会にて諮り例会の承認を得るものとする。但し、役員会にて現会員と業種が重複すると判断した場合には、その会員の同意を得る事とする。

(退 会)

第6条 会員は予め会長にその旨の記載した書面で通知した上で退会することができる。

(休 会)

第7条 会員が病気、その他止むを得ない事情で、通常の会の行事に参加できないときは役員会の承認を得て休会扱いとし会費の半額を負担するものとする。休会の期間は原則として事業期間中とする。

(除 名)

第8条 会員が本会の名誉をき損し、又はその目的に反する行為をしたときは、総会の決議により除名することができる。

(退会勧告)

第9条 次に該当する者は、役員会にはかり退会を勧告するものとする。

1. 会費を1年以上納入しない時。
2. 例会への出席が三分の一に満たない時。

(返 還)

第10条 本会は、会員の退会または除名処分が発生した場合、既に納入した会費その他の拠出金品は返還しない。

(役 員)

第11条 本会に次の役員をおく。

会 長	1名	副会長	2名
事務局長	1名	事務局次長	2名
正副部会長	若干名	監事	2名

(選 任)

第12条 役員を選任は次のとおりとする。

1. 会長と監事は選考委員会によって選考し総会に報告し選任する。
2. 選考委員会は各部会1名と現事務局長によって8月末日までに構成するものとする。
3. 副会長、事務局長、事務局次長は会長が指名する。
4. 部会長、副部会長は、部会員の互選とする。
5. 役員任期は1ヶ年とし再任を妨げない。役員欠員により選任された新役員任期は前任者の残任期間とする。
6. 役員(部会長を含む)の任期は総会から総会までとする。

(職 務)

- 第13条
1. 会長は本会を代表し会務を総括する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。
 3. 事務局長は会務を担当する。
 4. 事務局次長は事務局長を補佐し会務を担当する。
 5. 正副部会長は会務に参画する。
 6. 監事は会務を監査する。

(顧問、相談役)

第14条 本会に顧問と相談役をおくことができる。

1. 顧問は本会に功労のあった者の中から総会の議を経て会長が委嘱する。
2. 相談役は前会長とし、期間は現職会長の任期中とする。
3. 顧問、相談役は会長の諮問に応じて、本会の運営に関し、意見を述べることができる。

(総会、役員会)

第15条 本会の定期総会は毎年1月に行う。

1. 総会は会員の過半数をもって成立し、議決は出席者の過半数をもって決し、議決事項は全会員に報告する。
2. 役員会が必要と認めたときは臨時総会を会長が召集することができる。
3. 役員会は会長が召集し、部内の和を計るとともに諸問題を討議する。部会の開催回数は原則として年3回以上とする。

(会費)

第16条 会員は次の各事項に定める入会金および会費等を納入しなければならない。

1. 入会金 10,000円
年会費 36,000円
また、途中の入会者は月割りの会費とする。
2. 上記以外、必要の場合は役員会の決議により、特別会費及び寄付金を徴収することができる。

(事業年度)

第17条 本会の事業年度は毎年1月1日に始まり12月31日に終わる。

(内規)

第18条 この会則以外に必要事項は、役員会の議決を経て別に定める。

(会則の改正)

第19条 この会則は役員会にはかり、総会の議決をもって改正できる。

1. 昭和37年2月8日より実施。
2. 昭和43年3月17日一部改正。

3. 昭和47年1月16日一部改正。
4. 昭和49年1月20日一部改正。
5. 昭和50年1月26日一部改正。
6. 昭和57年1月19日一部改正。
7. 昭和58年1月23日一部改正。
8. 昭和62年1月18日一部改正。
9. 平成2年1月21日一部改正。
10. 平成5年8月6日一部改正。
11. 平成8年1月1日一部改正。
12. 平成10年9月6日一部改正。
13. 平成12年1月15日一部改正。

〈内 規〉

— 慶 弔 規 定 —

会員及びその家族の慶弔に際して、その意を表するため、下記の規定による金品を贈呈する。

1. 結 婚 祝

会員結婚の場合	20,000円
会員の子女結婚の場合	10,000円

(外に祝電で祝意を表する)
2. 出 産 祝 10,000円
3. 新 築 祝 10,000円
4. 病 気 見 舞

会員が傷病のため入院、または長期療養の場合	10,000円
-----------------------	---------
5. 弔 事

会員死亡の場合	20,000円
会員の配偶者、両親、子女	10,000円
会員の配偶者の両親で、同居する場合	10,000円

(外に弔電で弔意を表する)

上記以外で、会員が喪主・施主になった場合、香典弔電を贈る事ができる。
6. その他特に必要と認められた場合、役員会に計り実情に応じて金品を支出することができる。
7. 結婚式、新築祝、葬儀など、必要と思われる時は会旗を掲げ表意する。

— 表彰規定 —

会員が下記の事項に該当するときは、審査の上役員会で決定し、表彰状及び記念品を贈呈する。

1. 在籍10年を経る者、もしくは毎10年に達する者で、会のために尽力した者。
2. その他、特に功績のあった者。

— 保管・引継規定 —

1. 執行部は、会の資料等の保管引継の為、次の事を定める。

10年間…総会資料・会報・例会録音テープ・会員年間出席表・写真（例会、各行事をアルバム保管）

5年間…会計帳簿・領収書つづり

2. 総会に関する事前の（新、旧執行部）分担

旧執行部の担当→事業報告書・決算書・表彰者名簿・年間の出席表

新執行部の担当→総会式次第、事業計画案・予算案・会員名簿・会報ファイル表紙

新執行部は、上記の書類と、旧執行部の書類を加え、総会資料を作成する。

総会の日時、会場設定は、新旧の執行部と協議の上で決定する。

表彰者の記念品賞状等は、旧執行部で用意する。

永年表彰者の賞状の会長名は、旧執行部の会長名で記す。

年代行事一覽

<p>第30期事業報告(平成4年1月1日～12月31日)</p> <p>1月23日 道東経済センター 54名 第30期定期総会を開催。会長に伊東良孝氏再選</p> <p>2月15日 道東経済センター 73名 創立35周年記念式典 記念講演 他</p> <p>3月5日 道東経済センター 44名 第4部会担当「我々は本当に働き過ぎなのか」 講師 労働基準監督署 次長 中島 秀司氏</p> <p>4月6日 道東経済センター 47名 第1部会担当「このままだいのか旧釧路川」</p> <p>5月7日 道東経済センター 49名 第2部会担当「なるほど THE 946 表話」</p> <p>6月5日 道東経済センター 37名 第3部会担当「企業誘致の実態と課題 PAT 1」</p> <p>7月7日 道東経済センター 44名 臨時総会開催</p> <p>8月6日 道東経済センター 39名 第4部会担当「人口20万人を潤す日ながら起こる」</p> <p>9月7日 道東経済センター 37名 第1部会担当「バーサイドの未来を創造する」 アドバイザー 都市開発部都市計画課 課長補佐 廣田 克夫氏</p> <p>10月6日 道東経済センター 39名 第2部会担当「釧路湿原の利用」パネルディスカッション</p> <p>10月17日(土)・18日 川湯観光ホテル 27名 管外研修 川湯、釧路の将来について 講師 釧路市助役 森 貞雄氏</p> <p>11月6日 道東経済センター 37名 第3部会担当「こんな考え方もある」</p> <p>12月6日 道東経済センター 131名 Xmasパーティー</p>	<p>第31期事業報告(平成5年1月1日～12月31日)</p> <p>1月24日 道東経済センター 64名 第31期定期総会を開催。会長に本間鉄夫氏新任</p> <p>2月4日 道東経済センター 38名 事務局担当「釧路・今・今・転機を福」 講師 釧路商工会議所専務理事 木村 勲氏</p> <p>3月4日 道東経済センター 41名 事務局担当「あすなろクラブ、和を考える」</p> <p>4月2日 道東経済センター 36名 第1部会担当「今 問われる産業廃棄物の処理の行方、取り巻く環境」 講師 釧路市環境リサイクル担当専事 米田 忠幸氏</p> <p>5月6日 道東経済センター 47名 第4部会担当「健康について」</p> <p>6月3日 道東経済センター 45名 第2部会担当「エイズ110番」 講師 北海道釧路保健所 大角 晃弘医師</p> <p>7月7日 道東経済センター 48名 事務局担当「フリーター・キョウタイム」</p> <p>8月3日 道東経済センター 44名 第3部会担当「スタッドレスタイヤと交通事故」</p> <p>9月2日 道東経済センター 30名 第2部会担当「忘れた頃にやってくる災害」 講師 釧路地方気象台技術課課長 山内 義敬氏</p> <p>10月7日 道東経済センター 27名 第5部会担当「無」無について考える。</p> <p>11月6日 道東経済センター 29名 管外研修「阿寒町の概要と現状」 講師 阿寒町長 月館 俊松氏</p> <p>12月4日 道東経済センター 103名 Xmasパーティー</p>	<p>第32期事業報告(平成6年1月1日～12月31日)</p> <p>1月22日 道東経済センター 54名 第32期定期総会を開催。会長に高澤昌典氏</p> <p>2月3日 道東経済センター 39名 事務局担当「釧路支庁の役割と課題」 講師 釧路支庁地方部長 橋本英正氏</p> <p>3月4日 道東経済センター 42名 第2部会担当「釧路あすなろクラブ、現在、過去、未来」 ゲスト 釧路新聞社編集局長 横沢一夫氏</p> <p>4月5日 道東経済センター 34名 第3部会担当「釧路市経済の概況と主要プロジェクト」 講師 釧路市助役 後藤敏夫氏</p> <p>5月10日 道東経済センター 32名 第4部会担当「生き残りをかけて今…3企業に見る、その戦略をさぐる」</p> <p>6月3日 道東経済センター 38名 第1部会担当「21世紀に豊かな自然を残すため」 講師 北海道教育大学釧路校 教授 神田 房氏</p> <p>7月7日 道東経済センター 41名 事務局担当「あすなろ見本市」</p> <p>8月9日 道東経済センター 25名 第4部会担当「ゴミの分別収集について」 講師 釧路市環境部 部長 米田忠幸氏</p> <p>9月6日 道東経済センター 30名 第3部会担当「服を着たまの水洗」</p> <p>10月1日 道東経済センター 28名 管外研修「厚岸町の歴史と産業と観光」 講師 厚岸町長 澤田 昭夫氏</p> <p>11月4日 道東経済センター 29名 臨時総会</p> <p>12月4日 道東経済センター 112名 Xmasパーティー</p>	<p>第33期事業報告(平成7年1月1日～12月31日)</p> <p>1月22日 国際交流センター 44名 第33期定期総会。会長に市橋清捷氏</p> <p>2月14日 道東経済センター 34名 「今、あすなろクラブでは…」</p> <p>3月7日 道東経済センター 35名 「あすなろクラブの現状を考える」</p> <p>4月7日 道東経済センター 29名 「よりよいあすなろクラブを目指して」</p> <p>5月9日 道東経済センター 25名 「特別会員制度について」</p> <p>6月7日 道東経済センター 21名 「製造物責任法(PL法)の実態について」 講師 住友海上保険札幌札幌支店開発課長 岡本 隆氏</p> <p>7月14日 道東経済センター 37名 懇親例会</p> <p>8月7日 道東経済センター 31名 「会則改正の臨時総会」</p> <p>9月10日 道東経済センター 17名 野外レクリエーション</p> <p>10月13日 道東経済センター 33名 「道政参画6ヶ月を迎えて」 講師 伊東良孝氏</p> <p>11月1日 道東経済センター 23名 「私の仕事-私の人生-私の愛する釧路」 講師 日本銀行釧路支店長 福田 仁司氏</p> <p>12月3日 道東経済センター 36名 「家族クリスマス例会」</p>	<p>第34期事業報告(平成8年1月1日～12月31日)</p> <p>1月21日 道東経済センター 35名 第34期定期総会。会長に市橋清捷氏が再任</p> <p>2月15日 道東経済センター 24名 「私の人生-私の仕事-起業家に聞く」 萬木建設代表 漆崎 隆氏</p> <p>3月7日 道東経済センター 23名 「発想を変えよう-伸びる企業はここが違う-成功企業の事例紹介」 帝国データバンク釧路支店長・境 重昌氏</p> <p>4月9日 道東経済センター 26名 「釧路を叱る」パネルディスカッション</p> <p>5月9日 道東経済センター 16名 「水泳コーチから見た健康づくり」 東釧路スイミングクラブ代表・古屋英昭氏</p> <p>6月12日 道東経済センター 24名 「日本の伝統を体験する-茶道」 奥千家淡交会・上林宗律先生</p> <p>7月9日 道東経済センター 26名 「地酒-福司の実力」 福司酒造代表・波瀬誠也氏</p> <p>8月7日 道東経済センター 22名 野外レクリエーション</p> <p>9月8日 道東経済センター 17名 家族野外レクリエーション</p> <p>10月8日 道東経済センター 30名 「市長選両候補に聞く」総貫・後藤両氏より絶賛</p> <p>11月25日 道東経済センター 25名 「引継例会」</p> <p>12月1日 道東経済センター 30名 「家族クリスマス例会」</p>
<p>第35期事業報告(平成9年1月1日～12月31日)</p> <p>1月19日 道東経済センター 35名 第35期定期総会を開催。会長に稲場文男氏</p> <p>2月6日 道東経済センター 27名 「我が人生」 釧路市教育委員会委員長 矢口正光氏</p> <p>3月23日 道東経済センター 41名 創立35周年記念例会</p> <p>4月8日 道東経済センター 28名 「石炭産業の現状と将来の展望」 太平洋炭鉱総務課長 菊池靖則氏</p> <p>5月8日 道東経済センター 32名 「釧路の港を考える」</p> <p>6月6日 道東経済センター 34名 懇親例会</p> <p>7月8日 道東経済センター 26名 「国際社会における日本と釧路」 鈴木宗男 代議士</p> <p>8月8日 道東経済センター 29名 「釧路町・釧路市の合併を考える」</p> <p>9月6日(土)・7日 大弟子町当別 15名 管外研修</p> <p>10月7日 道東経済センター 21名 「釧路経済の現状と予測」 帝国データバンク釧路支店長 伊藤辰男氏</p> <p>11月7日 道東経済センター 25名 「次期執行部への提案」</p> <p>12月7日 道東経済センター 33名 「家族クリスマス例会」</p>	<p>第36期事業報告(平成10年1月1日～12月31日)</p> <p>1月18日 道東経済センター 38名 第36期定期総会を開催。会長に木内慎太郎氏</p> <p>2月6日 道東経済センター 36名 「あすなろクラブへ物申す」及び送別会 講師 今田 英三様</p> <p>3月6日 道東経済センター 33名 「民意を道政に」 北海道議会議員 伊東 良孝 会員</p> <p>4月7日 道東経済センター 25名 「歴代会長のクラブ発展を共に串んで」</p> <p>5月7日 道東経済センター 25名 「活躍するグループを紹介」</p> <p>6月5日 道東経済センター 39名 「総貫釧路市長と語る」 釧路市長 綿貫 健輔 様</p> <p>7月19日 道東経済センター 16名 「家族野外レクリエーション」</p> <p>8月7日 道東経済センター 28名 「夏のビール例会」</p> <p>9月8日 道東経済センター 27名 「あすなろクラブ40周年に向けて 資料の保存と内規の作成について」</p> <p>10月17日(土)・18日 川湯観光ホテル 24名 管外研修</p> <p>11月6日 道東経済センター 23名 「家族クリスマス例会」</p> <p>12月5日 道東経済センター 35名 「あすなろクラブ忘年会」</p>	<p>第37期事業報告(平成11年1月1日～12月31日)</p> <p>1月18日 道東経済センター 35名 第37期定期総会を開催。会長に飯田正幸氏</p> <p>2月9日 道東経済センター 27名 「ザ・税金」 青木孝志 税理士事務所所長</p> <p>3月4日 道東経済センター 24名 「救急救命」 釧路消防署 矢内達也氏・高杉 浩氏</p> <p>4月8日 道東経済センター 27名 「会員スピーチ例会」</p> <p>5月13日 道東経済センター 29名 「ビール例会」</p> <p>6月10日 道東経済センター 37名 「暴力団と企業」 釧路警察署 高橋水保氏</p> <p>7月8日 道東経済センター 24名 「クラブ活動が半期を終えて仮決算と会食会」</p> <p>8月8日 道東経済センター 18名 「家族レクリエーション」を開催</p> <p>9月11日(土)・9月12日 23名 「一泊研修例会」</p> <p>10月7日 道東経済センター 21名 「一度地震を見た男」 支中釧路中央青果 寺前利彦氏</p> <p>11月4日 道東経済センター 32名 「インターネットを体験してみよう」 NTT東日本釧路支店部長 大澤哲夫氏</p> <p>12月4日 道東経済センター 29名 「忘年会例会」</p>	<p>第38期事業報告(平成12年1月1日～12月31日)</p> <p>1月13日 道東経済センター 33名 第38期定期総会を開催。会長に安藤栄治氏</p> <p>2月3日 道東経済センター 27名 「21世紀の北海道道として釧路」 北海道議会議員 伊東 良孝 会員</p> <p>3月9日 道東経済センター 24名 「お宮に行ってみよう」 飯島神社 宮司 菊池 吉郎 会員</p> <p>4月6日 道東経済センター 30名 「これが介護保険だ」 水同生命保険相互会社 及川 郁伸 会員</p> <p>5月11日 道東経済センター 28名 「最近の釧路における四方山話し」 釧路新聞社 編集局長 伊藤 豊 様</p> <p>6月8日 道東経済センター 38名 「ビール例会」</p> <p>7月6日 道東経済センター 28名 「第2部会 おおむらさき」</p> <p>8月10日 道東経済センター 26名 「釧路地方気象台 次長 藤田 英治 様」</p> <p>9月9日(土)・9月10日 17名 「一泊研修例会」</p> <p>10月5日 道東経済センター 27名 「己の体力を知る」 協力 釧路市市民力体力員協議会 様</p> <p>11月9日 道東経済センター 33名 「総貫釧路市長への期待」 釧路市長 綿貫 健輔 様</p> <p>12月7日 道東経済センター 38名 「忘年会例会」</p>	<p>第39期事業報告(平成13年1月1日～12月31日)</p> <p>1月13日 道東経済センター 35名 第39期定期総会を開催。会長に中尾嘉男氏</p> <p>2月8日 道東経済センター 34名 「道議会活動報告」 北海道議会議員 伊東 良孝 会員</p> <p>3月3日 道東経済センター 25名 「地球環境を考える」</p> <p>4月11日 道東経済センター 39名 合同例会「対話」</p> <p>5月9日 道東経済センター 28名 「第三、第四部会の合同例会」 NTT東日本の佐藤部門長より、マイラインの説明</p> <p>6月6日 道東経済センター 28名 「幻想の世界オロラに魅せられて」 釧路市監査委員・柴崎光一氏</p> <p>7月6日 道東経済センター 41名 「ビール例会」</p> <p>8月9日 道東経済センター 33名 「第一、第二部会の合同例会」 元衆議院議員・駒田俊之氏による講演会。</p> <p>9月9日 道東経済センター 31名 「近隣町から見た釧路」 白糠町町長 榎野孝夫 様</p> <p>10月6日 道東経済センター 23名 「宿泊例会」</p> <p>11月7日 道東経済センター 39名 「生活習慣病」加勢内科院長 長</p> <p>12月8日 道東経済センター 40名 「忘年会例会」</p>

40周年記念実行委員会

実行委員長	伊 東 良 孝	記念誌委員長	木 内 慎太郎
実行副委員長 (式典担当)	泰 地 秀 信	記念誌副委員長	本 間 英 俊
実行副委員長 (記念誌担当)	市 橋 清 捷	記念誌委員	市 橋 清 捷
監 査	谷 口 正 四	〃	畑 〃 稔
〃	大 谷 真 市	〃	佐 藤 誠 一
事務局長	飯 田 正 幸	〃	安 藤 栄 治
事務局次長	佐 藤 誠 一	〃	清 水 雅 則
事務局	須 崎 幸 藏	〃	坂 上 政 敏
式典委員長	宮 澤 昌 典	〃	大 串 希 昭
式典副委員長	安 藤 栄 治		
式典委員	吉 多 幸 男		
〃	関 昭 次		
〃	野 口 仁		
〃	近 藤 義 男		
〃	坂 本 裕 人		
〃	杉 山 宏 司		

創立40周年という節目に、記念式典を行う事が例会で決定し、すぐに実行委員会が設置され記念事業の一環として40周年記念誌を発刊する事となりました。その時点で私のクラブ記念誌20・30周年誌に携わった経験がかわれ、記念誌委員長との声が掛りましたが、印刷業の私があるまま委員長を引き受けるのも躊躇いたしました。未熟乍らお引受致しました。

今回、記念誌制作に当り、大変スムーズな編集作業に入る事が出来たのも、歴代執行部の方々が、20年前からの資料を、きちんと保管し会報、写真類が整理されていたからでした。心より感謝申し上げます。

しかし、溯って10年間の資料整理は、仕事が終わってからの限られた時間内でははかどらず、おのずと各委員は、自宅にて原稿書きの日々でした。今回、私共が痛感したのが文章を書くむずかしさであり、文才のある最上・今田両先輩の英知と御努力に改めて敬意を表したいと思えます。

表紙の題字に付きましては、書道家の近藤二堂先生に、記念題字をご依頼し、華を添えて頂きました。又、写真撮影は、佐藤（惟）会員にお願いし種々ご苦勞をお掛け致しました。尚、文中の誤記・誤字等には各委員で校正を重ねましたが、何分のご寛容をお願い致します。

最後に、40周年記念誌が、会員皆様のクラブの歩みとして、又愛読書として永くお手許でご活用頂けます事を祈念し後記と致します。

（文中における敬称は略させて頂きました。）

釧路あすなろクラブ40周年記念誌

2002年2月22日 発行

編集責任者 木内慎太郎

発行責任者 畑 稔

印 刷 木内印刷(有)

発 行 釧路あすなろクラブ